



TCS-3100N

取扱説明書



HYTEC INTER Co., Ltd.

第 1.3 版

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、弊社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、弊社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

改版履歴

第1版	2024年10月01日	新規作成	
第1.1版	2025年03月07日	改版	製品仕様の変更
第1.2版	2025年05月16日	改版	ロゴ差し替え
第1.3版	2025年05月28日	改版	固定金具の写真追加 ターミナルブロックのピン配列を追記

ご使用上の注意事項

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、一般事務用、通常の産業等の一般的用途を想定した製品であり、ハイセイフティ用途*での設備や機器としての使用またはこれらに組込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、システムなどに本製品を使用され、本製品の故障等により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じて当社はいかなる責任も負いかねます。
お客様が、本製品をハイセイフティ用途に使用される場合は、必要な安全性を確保する措置を施す等 十分な配慮をお願いします。
*: 極めて高度な信頼性や安全性が要求され、機器の故障、誤動作により、信頼性や安全性が確保されない場合、生命、身体や財産等に損害を及ぼす恐れがある用途
- 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本製品及び付属品を直射日光の当たる場所や、温度の高い場所で使用しないでください。本体内部の温度が上がり、故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品を暖房器具などのそばに置かないでください。ケーブルの被覆が溶けて感電や故障、火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品をほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気のあたる場所で使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品を重ねて使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 通気口をふさがないでください。本体内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 通気口の隙間などから液体、金属などの異物を入れないでください。感電や故障の原因になることがあります。
- 付属のACアダプタは本製品専用となります。他の機器には接続しないでください。
また、付属品以外のACアダプタを本製品に接続しないでください。
- 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、弊社は一切

その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

目次

1. 製品概要	8
2. 梱包物一覧.....	8
3. 製品外観	9
3.1. 前面.....	9
3.2. 背面.....	10
3.3. 固定金具.....	13
4. インストレーション	14
5. 対応解像度一覧	15
6. 設定画面へのログイン.....	16
7. メニューの切り替え方法	20
7.1. SETUP メニューから LIVE メニューへの切り替え	20
7.2. LIVE メニューから SETUP メニューへの切り替え	20
8. 基本設定	21
8.1. IP アドレスの変更	21
8.2. 映像入力インタフェースの変更.....	22
8.3. エンコードの設定.....	23
8.4. Normal モードでの接続	24
8.5. MPEG-TS での映像配信	25
8.6. RTSP サーバでの映像配信	26
8.7. RTSP ストリーム URL 一覧	27
8.8. 双方向 IP 音声伝送	28
8.9. ポート開放の設定	29
9. Setup メニュー	30
9.1. Video&Audio.....	30
9.1.1. Information	31

9.1.2.	Video	32
9.1.3.	Audio	37
9.1.4.	Output.....	38
9.2.	Image	39
9.2.1.	Mask	40
9.3.	Network.....	42
9.3.1.	IP&Port.....	43
9.3.2.	RTSP Multicast	47
9.3.3.	QoS.....	48
9.3.4.	Discovery	49
9.3.5.	One-way	50
9.3.6.	SRT	54
9.3.7.	SNMP	55
9.3.8.	DDNS.....	57
9.3.9.	IP filtering	58
9.3.10.	E-mail.....	59
9.3.11.	FTP	61
9.3.12.	Connecting.....	63
9.4.	Event.....	64
9.4.1.	Notification.....	65
9.4.2.	User Defined Event.....	67
9.4.3.	Motion Detection	68
9.4.4.	Audio Detection	70
9.4.5.	Sensor.....	71
9.4.6.	Alarm	73
9.4.7.	Event OSD	74
9.4.8.	HTTP Action.....	76
9.5.	Record.....	78
9.5.1.	General	79
9.5.2.	Schedule	81
9.5.3.	Disk Information	83
9.5.4.	Search Page	85
9.6.	Device	86
9.6.1.	Information	87
9.6.2.	Serial	88
9.7.	PTZ.....	90
9.7.1.	General	91
9.7.2.	Preset	92

9.7.3.	Group.....	93
9.7.4.	Advanced	94
9.7.5.	Direction OSD	96
9.8.	User.....	97
9.8.1.	User List	98
9.8.2.	Login Policy.....	101
9.9.	System.....	103
9.9.1.	Information	104
9.9.2.	Upgrade & Reboot	105
9.9.3.	Time	107
9.9.4.	OSD	108
9.9.5.	Language	111
9.9.6.	Log.....	112
10.	Live メニュー.....	115
11.	製品仕様	117
12.	困ったときには.....	119
13.	製品保証	120

1. 製品概要

TCS-3100N は、H.264/H.265/MJPEG の動画圧縮規格を採用し、HDMI/SDI の映像データや G.711 或いは AAC の音声データを IP ネットワーク経由で伝送できるエンコーダです。

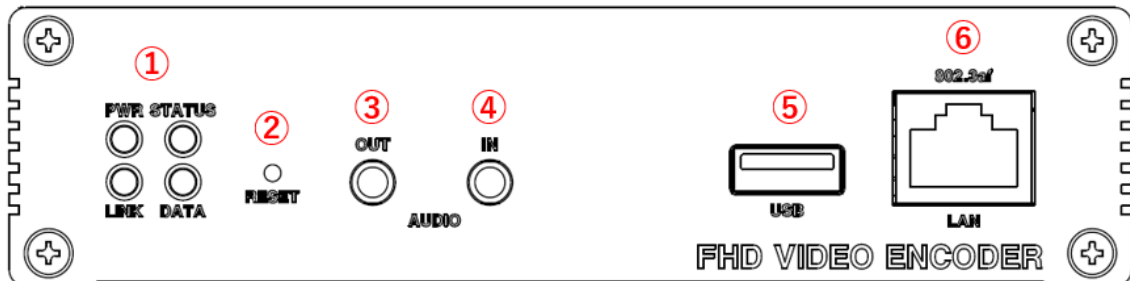
2. 梱包物一覧

ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

名 称	数 量
本体	1 台
AC アダプタ	1 個
固定金具	2 個
固定金具用ネジ	8 個
保護接地極用ネジ	1 個
3-pin ターミナルブロック	2 個
4-pin ターミナルブロック	2 個

3. 製品外観

3.1. 前面



#	表示	説明
①	LED	電源の OFF/ON、本体の状態、対向機との接続状態、映像/データが送受信されているか等を示します。
②	<u>RESET</u>	ネットワーク設定を初期状態にします。 PWR と DATA が緑点灯するまで(約 12 秒間)押下してください。 その後、自動で再起動し、約 30 分後に起動します。 <u>初期化範囲</u> IP & Port > Local, Port(Base/HTTP/HTTPS), MTU Size, User > User List
③	<u>AUDIO OUT</u>	増幅機能を有するスピーカなどを接続します。 3.5mm ステレオミニジャックの LINE 出力ポートです。
④	<u>AUDIO IN</u>	増幅機能を有する音源を接続します。 3.5mm ステレオミニジャックの LINE 入力ポートです。
⑤	<u>USB</u>	USB メモリを接続し、録画を保存します。 ※USB メモリースティックまたは USB HDD(外部電源付き)を推奨します。詳細は” USB ディスクについて ”をご確認ください。
⑥	<u>LAN</u> ※1	本機をネットワークに接続します。(10/100/1000Mbps)

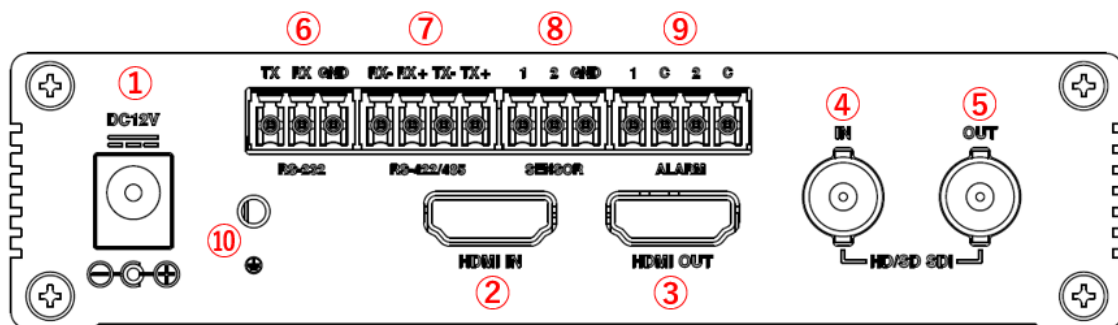
※1 前面に 802.3af の記載がありますが、PoE 受電での動作はサポートしておりません。

LED の状態

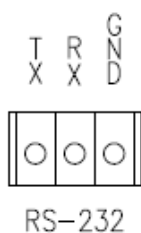
#	名称	状態	説明
①	<u>PWR</u>	消灯	電源が入っていません。
		緑点灯	電源が入っています。
	<u>STATUS</u>	緑点滅	システムが正常に稼働しています。
		赤点灯	システムに異常が発生しています。
	<u>LINK</u>	消灯	対向の機器と接続されていません。
		緑点灯	対向の機器と接続されています。
	<u>DATA</u> ※2	消灯	HDMI は接続されていません。
		緑点灯	HDMI は正常に入力されています。
		赤点灯	サポートしていない形式で入力されています。

※2 DATA LED は、SDI の入力に対して点灯しません。

3.2. 背面



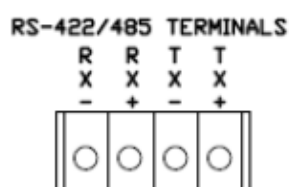
#	表示	説明
①	<u>DC12V</u>	DC12V の電源を供給します。
②	<u>HDMI IN</u>	HDMI 信号を入力します。
③	<u>HDMI OUT</u>	HDMI のループアウト信号を出力します。
④	<u>HD/SD SDI IN</u>	SDI 信号を入力します。
⑤	<u>HD/SD SDI OUT</u>	SDI のループアウト信号を出力します。
⑥	<u>RS-232</u>	カメラのコントロール (PTZ 制御) を行います。
⑦	<u>RS-422/485</u>	カメラのコントロール (PTZ 制御) を行います。
⑧	<u>SENSOR</u>	外付けのセンサーを接続します。
⑨	<u>ALARM</u>	外付けのアラーム機器を接続します。
⑩		付属の保護接地極用ネジを接続します。

Serial ポート RS-232

● Port Type

3 PIN

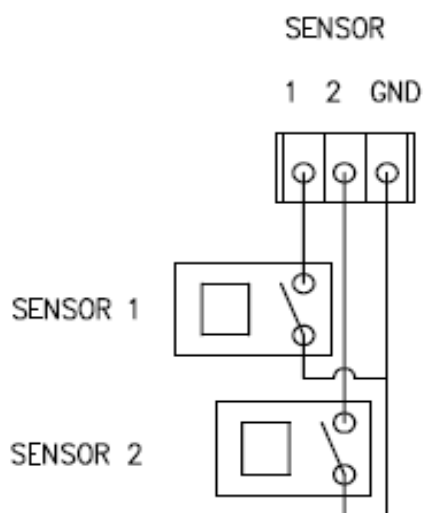
ピン番号	ピン名	説明
1	TX	RS232 TX (Transmit)
2	RX	RS232 RX (Receive)
3	GND	Ground

Serial ポート RS-422/485

● Port Type

4 PIN

ピン番号	ピン名	説明
1	RX-	RS422 RX-
2	RX+	RS422 RX+
3	TX-	RS422 TX- or RS485 TRX- It is selectable by S/W setup
4	TX+	RS422 TX+ or RS485 TRX+ It is selectable by S/W setup

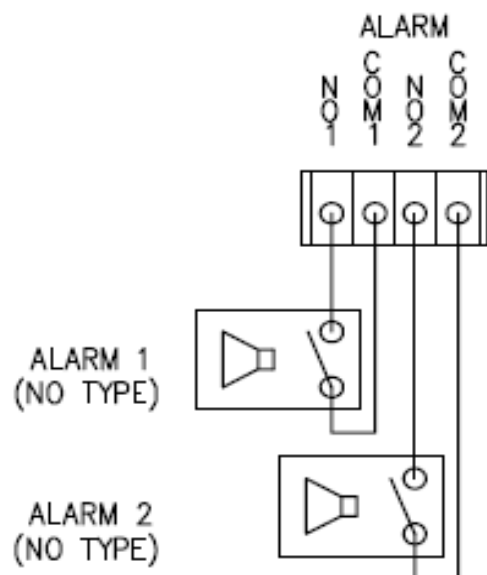
Sensor ポート

● Terminal Type

Color : Green

● Sensor Signal Input Type

NO Contact Signals

Alarm ポート

● Terminal Type

Color : Green

● Power Rating

(User has to use following spec)

Voltage Rating : 12VDC

Current Rating : 0.1A

● Alarm Signal Output Type

NO/NC Contact Signals

● Connection to External Device

External alarm line power is under 12V/1A

3.3. 固定金具

《固定金具(2本)》



《固定金具取り付け時のイメージ》



4. インストレーション

以下に接続例を示します。

■ 1 対 1 接続

一般的によく使われる構成は、1 対 1 接続です。

TCS-3100N(エンコーダ)の対向で使用するデコーダは TCS-1700 となります。



また、音声信号を IP 化し、IP 経由での音声伝送ができます。

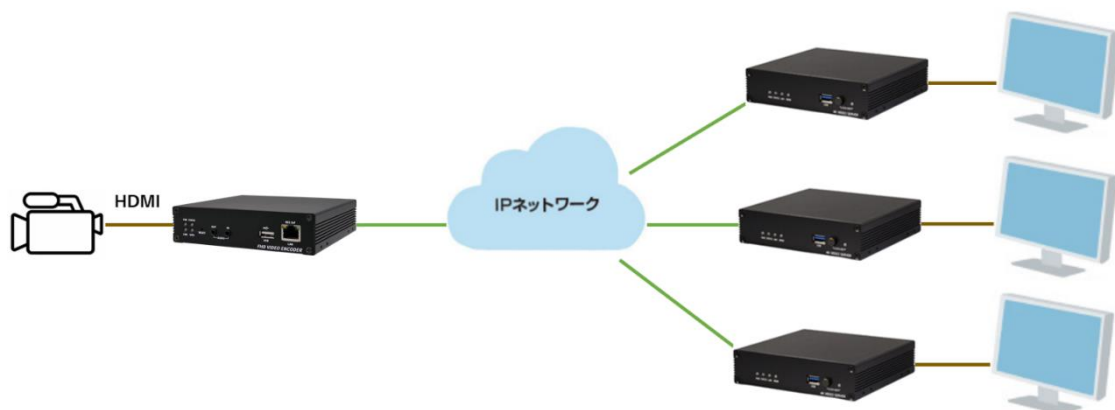
片方向はもちろん、双方向での音声やりとりが可能となります。



■ 1 対 多 接続

1 つの映像を複数の場所から監視することができる、1 対多の接続です。

最大接続数は、ネットワーク帯域幅によって制限されます。



5. 対応解像度一覧

入力インターフェース	解像度
3G/HD/SD-SDI	PAL
	NTSC
	1280 × 720 p30/50/59.94/60
	1920 × 1080 p25/29.97/30/50/59.94/60
HDMI	640 × 480 p60
	720 × 480 p30/p60
	800 × 600 p60
	1024 × 768 p60
	1152 × 864 p60
	1280 × 720 p50/59.94/60
	1280 × 768 p60
	1280 × 960 p30/60
	1280 × 1024 p30/60
	1360 × 768 p60
	1440 × 900 p60
	1600 × 900 p60
	1600 × 1200 p60
	1680 × 1050 p60
	1920 × 1080 p25/30/50/60

※HDMI/SDI OUT は、各インターフェースで入力した解像度をそのまま出力します。(ループアウト)

6. 設定画面へのログイン

Web ブラウザを使用して、TCS-3100N の設定を行います。

- ログイン初期設定

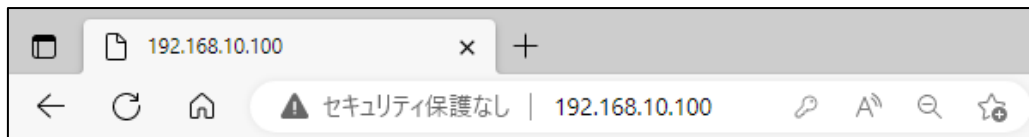
IP アドレス : 192.168.10.100/24

ユーザ名 : admin

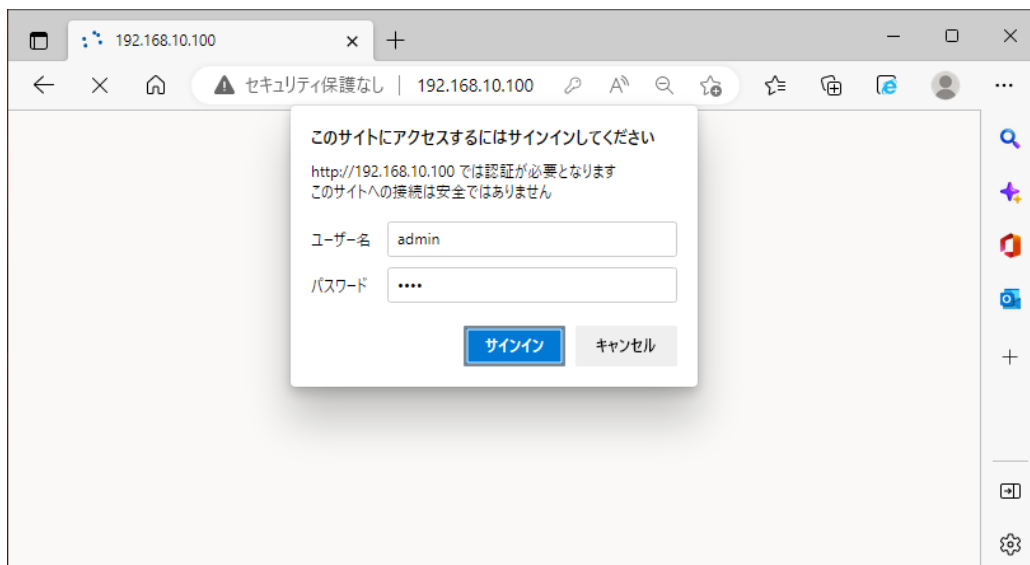
パスワード : 1234

- ログイン手順

1. ブラウザのアドレスバーに”192.168.10.100”を入力して接続します。

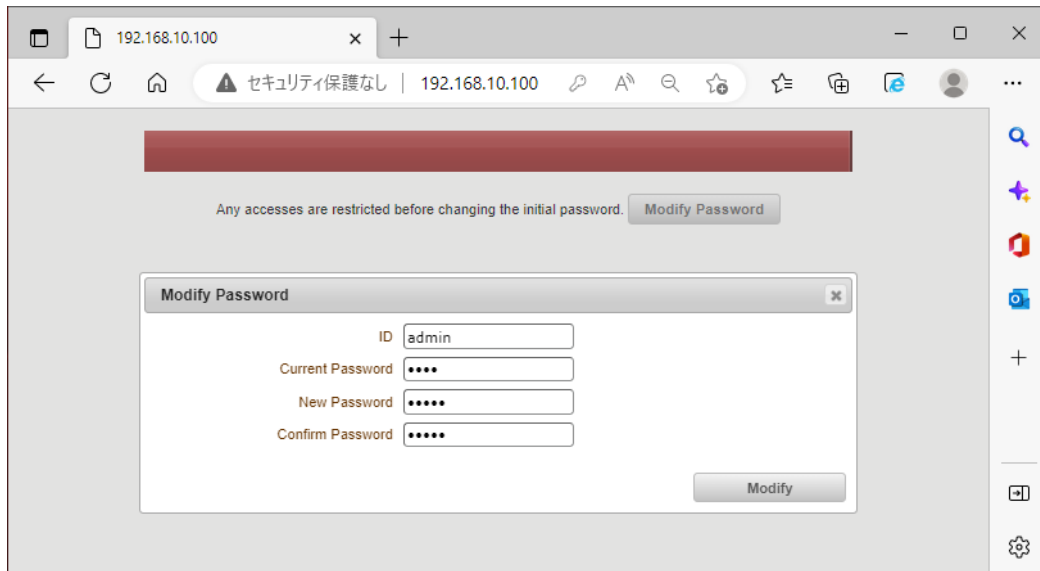


2. ユーザ名とパスワードを入力して、”サインイン”をクリックします

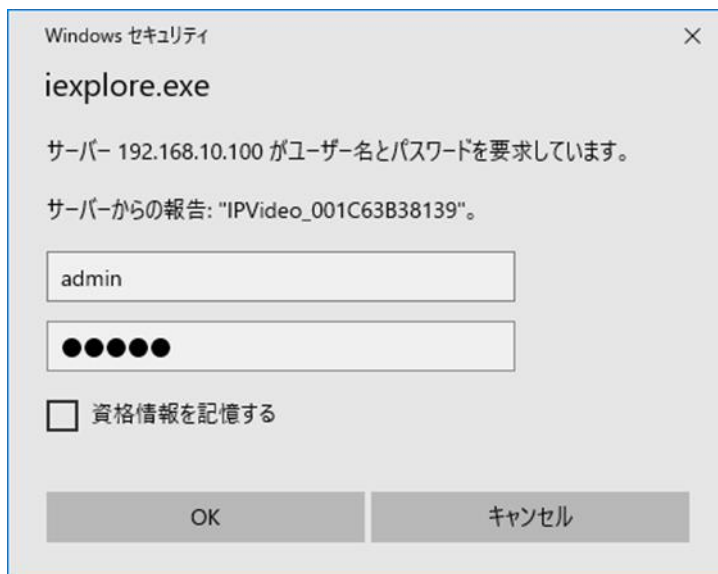


3. 初期パスワードの変更を必ず行います。(Modify Password をクリック)

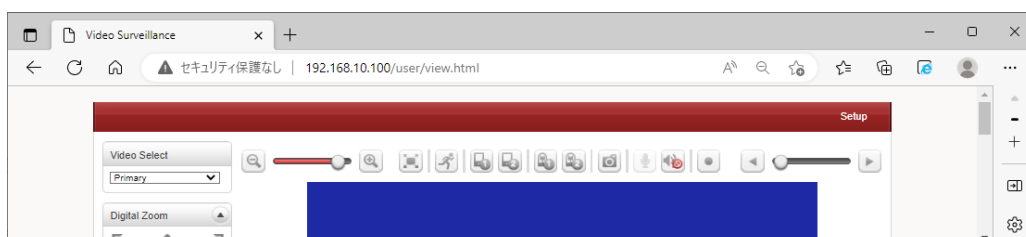
Current Password には初期値の 1234 を入力します。New/Confirm Password には初期値以外の新しいパスワードを入力し、Modify をクリックしてパスワードを変更します。



4. 再度ユーザ名とパスワードが要求されるので、上記 3 で設定した新しいパスワードでログインします。



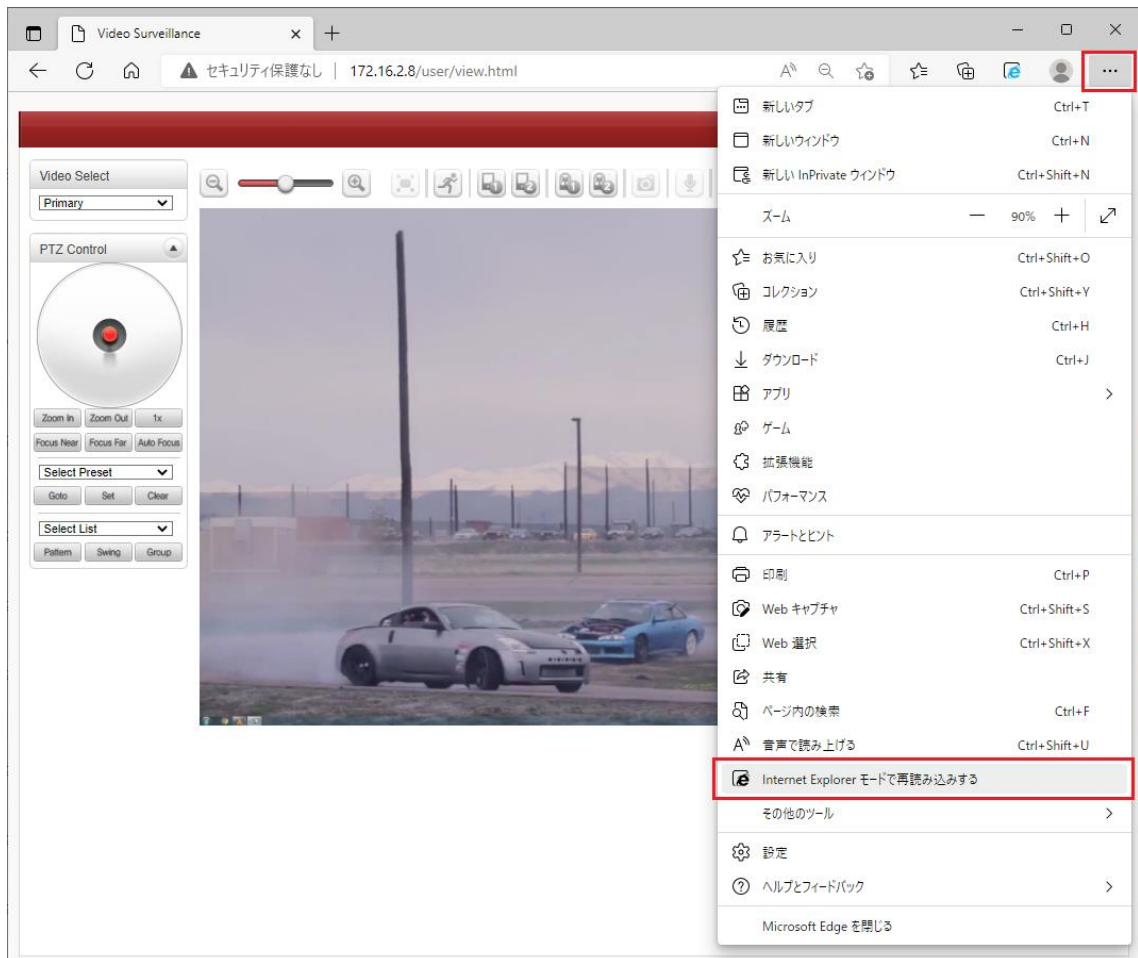
5. ログインに成功すると、Live 画面が表示されます。



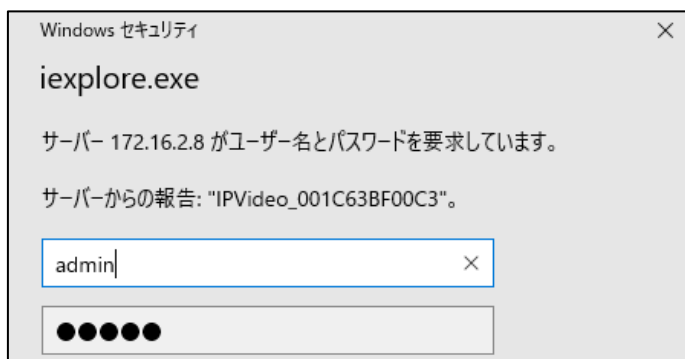
- Internet Explorer モード (IE モード)

設定方法

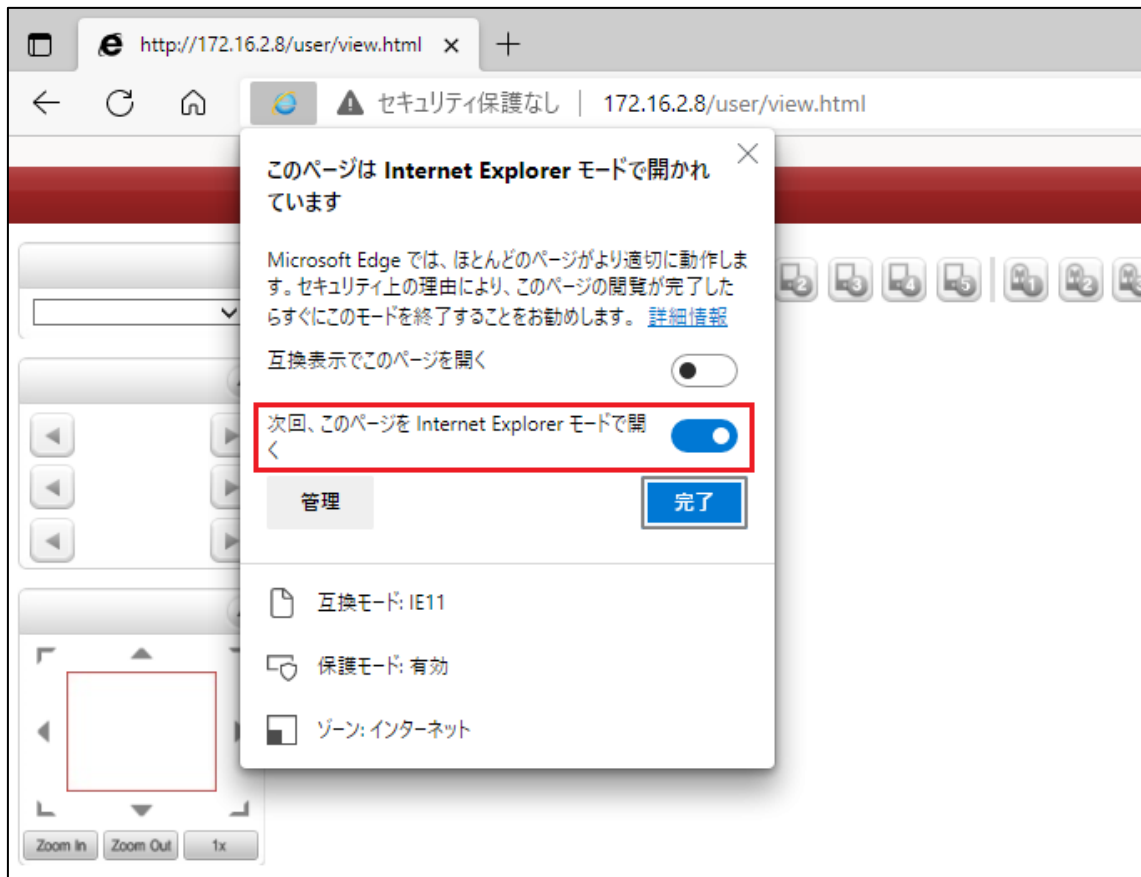
1. Microsoft Edge ブラウザで、上記のログイン手順に従って TCS-3100N にログインします。
2. 右上の「…」をクリックします。
タブの中から「Internet Explorer モードで再度読み込みする」を選択します。



3. ユーザ名とパスワードを求められるので、再度ログインします。



4. 「次回、このページを Internet Explorer モードで開く」を有効にし、完了をクリックします。
次回以降 Edge でログインすると、自動的に Internet Explorer モードで開きます。



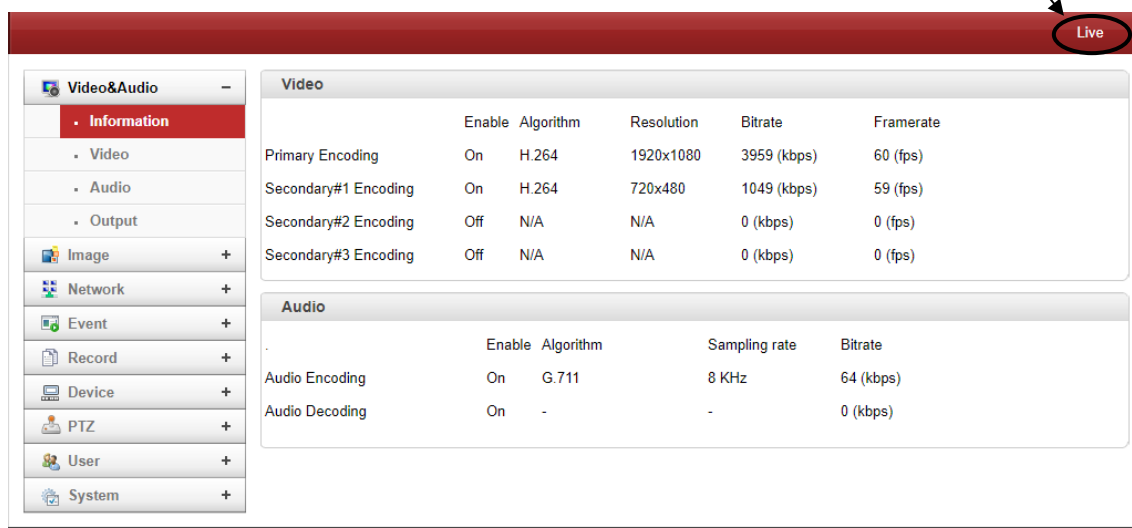
注意事項

Microsoft Edge の Internet Explorer モードでは、Live メニューの「File Record」および「Snapshot」はご使用になれません。必要な場合は、“Chrome”または“Edge の通常モード”でご使用ください。

7. メニューの切り替え方法

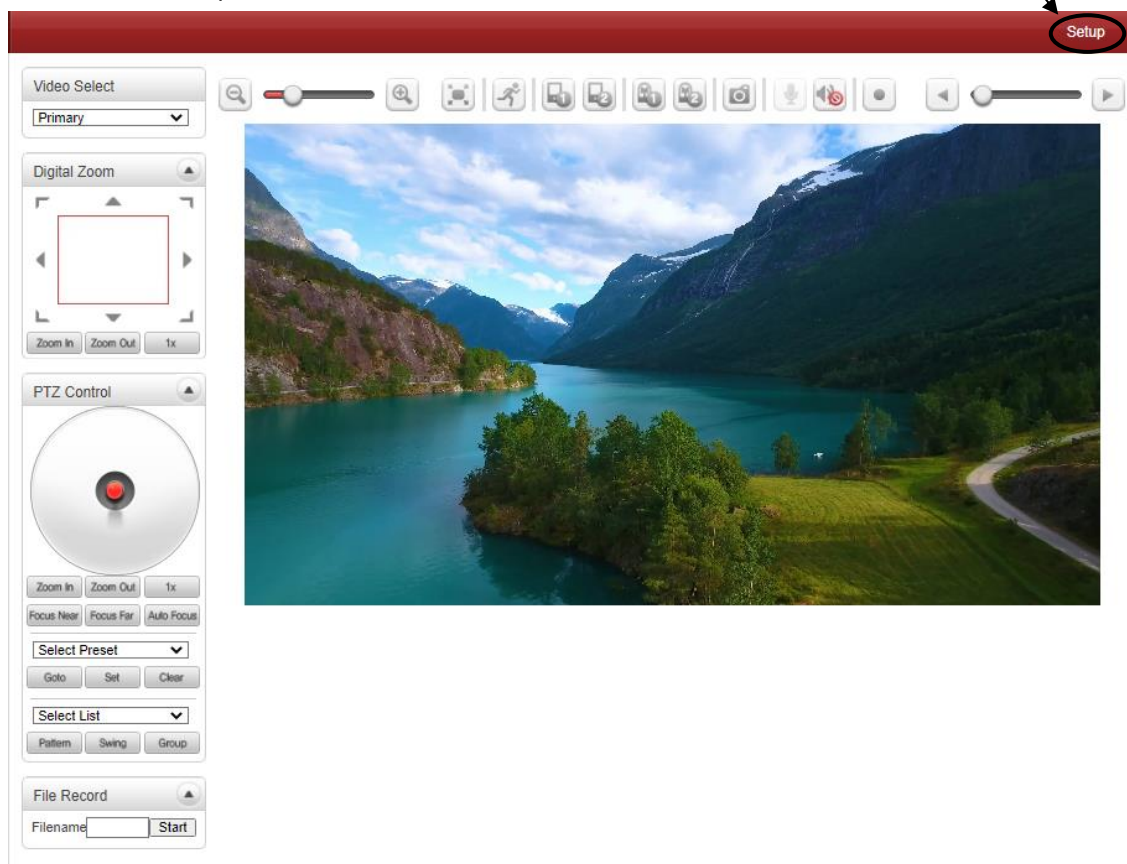
7.1. SETUP メニューから LIVE メニューへの切り替え

画面右上の”Live”をクリックします。



7.2. LIVE メニューから SETUP メニューへの切り替え

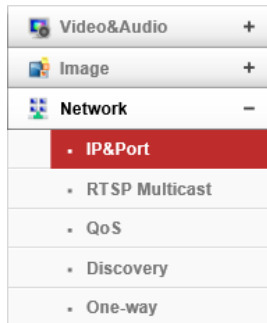
画面右上の”Setup”をクリックします。



8. 基本設定

8.1. IP アドレスの変更

1. Network の“IP&Port”をクリックします。

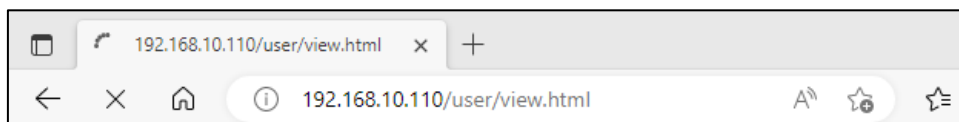


2. Local IP (IP アドレス)、Local Gateway (デフォルトゲートウェイ)、Local Subnet (サブネットマスク)をそれぞれ入力します。

※IP Mode を DHCP にした場合、Local 設定は入力できません。

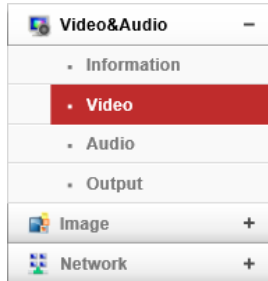
3. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。
※本機は自動で再起動します。

4. ブラウザのアドレスバーに新しく設定した IP アドレスを入力しログインします。

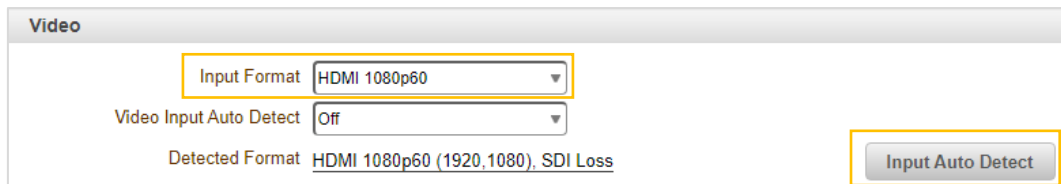


8.2. 映像入力インターフェースの変更

1. Video&Audio の“**Video**”をクリックします。



2. **Input Format** で映像入力するインターフェースを選択します。
また、**Input Auto Detect** をクリックするとインターフェースを自動検出します。



※Input Auto Detect は Video Input Auto Detect が Off の場合のみ使用可能。

3. Input Auto Detect をクリックした場合、以下に表示されている HDMI を選択します。



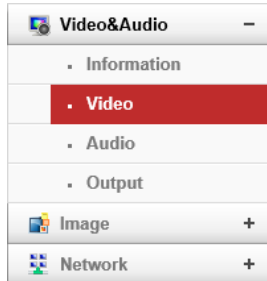
4. 画面右下の  をクリックし、設定を反映させます。

注意事項

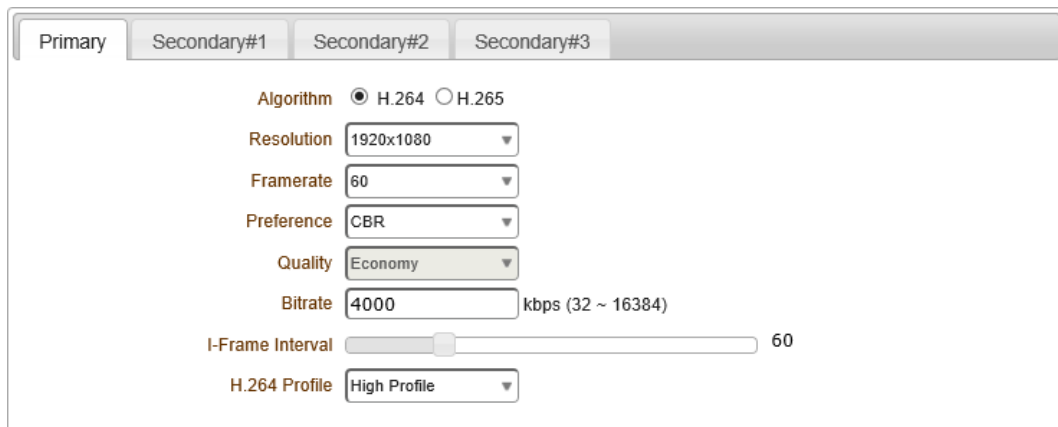
Input Format と Detected Format は、同じフォーマットに設定する必要があります。
異なるフォーマットに設定した場合、エンコード映像が正しく表示されない可能性があります。

8.3. エンコードの設定

1. Video&Audio の“Video”をクリックします。



2. Algorithm(圧縮方式)、Resolution(解像度)、Framerate(フレームレート)などを設定します。
Preference が CBR の場合は Bitrate、VBR の場合は Quality、Hybrid の場合は Bitrate および Quality を設定します。



※入力映像によって解像度、フレームレートの設定範囲が異なります。

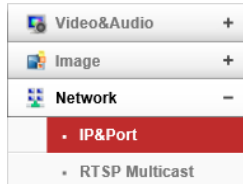
3. 画面右下の  をクリックし、設定を反映させます。

8.4. Normal モードでの接続

TCS 独自の接続方法となります。デコーダは TCS-1700 をご使用ください。

TCS-3100N(エンコーダ)の設定

1. Network の“IP&Port”をクリックします。

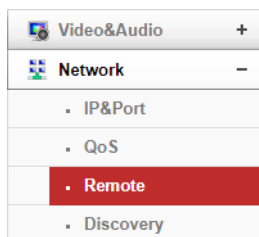


2. Port 設定にて、Base Port を確認します。(初期値:2222)

3. Base Port を変更した場合、画面右下の  をクリックし、設定を反映させます。
※本機は自動で再起動します。

TCS-1700(デコーダ)の設定

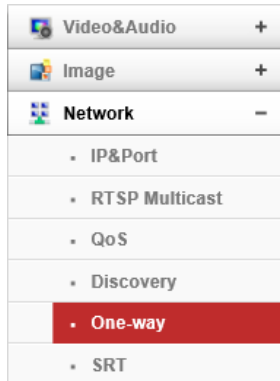
1. Network の“Remote”を開きます。



2. Remote Type は“Normal”を選択し、Address に TCS-3100N の IP アドレス、Port に TCS-3100N の Base Port 番号を入力し、 をクリックすると接続できます。

8.5. MPEG-TS での映像配信

1. Network の“**One-way**”をクリックします。



2. Mode を **MPEG-TS** にします。

Destination IP には映像受信側(デコーダ)の IP アドレス、**Port** は受信するポート番号を入力します。

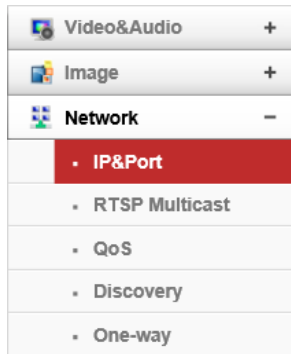
The 'One-way Streaming' window shows the following configuration:

	Enable	Destination IP	Destination Port
Primary	☒	192.168.10.7	50000
Secondary#1	☐		0
Secondary#2	☐		0
Secondary#3	☐		0

3. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。
4. デコーダには、ストリーム URL “**udp://@:<port>**”を入力し再生します。
※port : One-way Streaming で設定した Destination Port を入力

8.6. RTSP サーバでの映像配信

1. Network の“IP&Port”をクリックします。



2. RTSP Port に RTSP で使用するポート番号を入力します。(初期値:554)

The image shows a 'Port' configuration window with the following fields and values:

Port Type	Value	Range
Base Port	2222	(1025~65535)
HTTP Port	80	(80, 1025~65535)
HTTPS Port	443	(443, 1025~65535)
RTSP Port	554	(554, 1025~65535)
Audio Receive Port	2280	(1025~65535)

3. 画面右下の  をクリックし、設定を反映させます。
4. デコーダには、ストリーム URL “[rtsp://<IP Address>:<RTSP Port>/video1](#)”を入力し再生します。

※IP Address : TCS-3100N の IP アドレス

8.7. RTSP ストリーム URL 一覧

RTSP ストリーム URL を示します。

映像	音声	ストリームアドレス
Primary	有り	rtsp://192.168.10.100:554/video1+audio1
Primary	無し	rtsp://192.168.10.100:554/video1
Secondary#1	有り	rtsp://192.168.10.100:554/video1s1+audio1
Secondary#1	無し	rtsp://192.168.10.100:554/video1s1
Secondary#2	有り	rtsp://192.168.10.100:554/video1s2+audio1
Secondary#2	無し	rtsp://192.168.10.100:554/video1s2
Secondary#3	有り	rtsp://192.168.10.100:554/video1s3+audio1
Secondary#3	無し	rtsp://192.168.10.100:554/video1s3
Secondary#4	有り	rtsp://192.168.10.100:554/video1s4+audio1
Secondary#4	無し	rtsp://192.168.10.100:554/video1s4
無し	有り	rtsp://192.168.10.100:554/audio1

※上記の例は、IP アドレス及び RTSP ポート番号が初期値である場合の URL です。

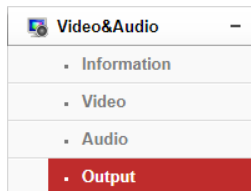
8.8. 双方向 IP 音声伝送

双方向音声伝送の設定を行います。設定は、エンコーダ/デコーダ共通となります。

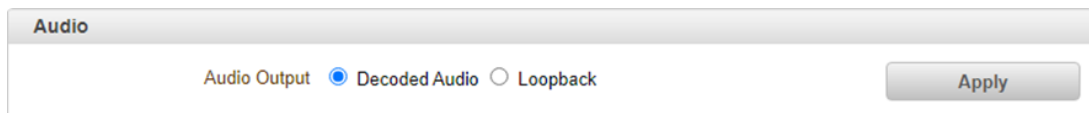
デコーダは TCS-1700 である必要があります。

※「8.4」に倣い、Normal で接続できていることを確認してください。

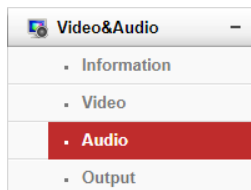
1. Video&Audio の“**Output**”をクリックします。



2. Audio Output は **Decoded Audio** を選択して、 をクリックし、設定を反映させます。



3. 次に、Video&Audio の“**Audio**”をクリックします。



4. **Audio Source** と **Algorithm** を設定し、Mode は **Tx & Rx** を選択します。



注意事項

双方向音声を使用する時は、エンコーダの Output Algorithm とデコーダの Algorithm を一致させる必要があります。Algorithm は AAC を推奨します。

8.9. ポート開放の設定

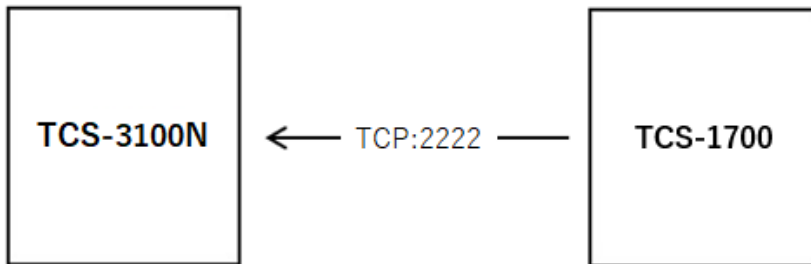
WAN 経由で通信を行う場合は、ルータでポートフォワーディングの設定を行う必要があります。

※下記の例は、TCS-3100N のポート設定が初期状態の場合のものです。

- **Normal (TCS-3100N → TCS-1700 Decoder)**

・TCP Port 554 :TCS-3100N ←TCS-1700

エンコーダ側のルータで TCP:2222 をポートフォワーディングします。



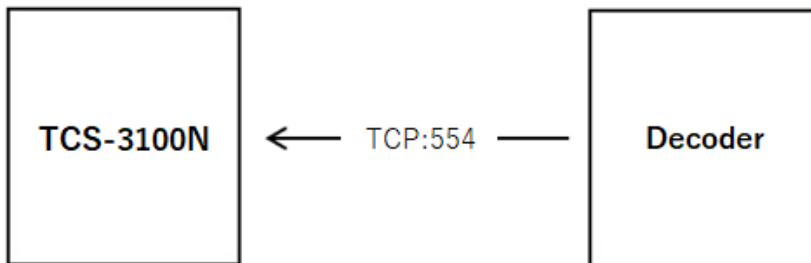
※WAN 経由の場合、Media Protocol では TCP を選択してください。(デコーダ側の設定)

※ポート番号は、Network > IP&Port > Port の Base Portで変更可能です。

- **RTSP (TCS-3100N → Decoder)**

・TCP Port 554 :TCS-3100N ← Decoder

エンコーダ側のルータで TCP:554 をポートフォワーディングします。

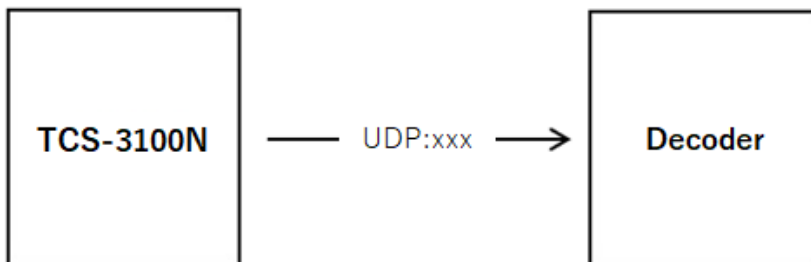


※ポート番号は、Network > IP&Port > Port の RTSP Portで変更可能です。

- **MPEG-TS (TCS-3100N → Decoder)**

・UDP Port xxxx :TCS-3100N → Decoder

デコーダ側のルータで、指定した UDP ポートをポートフォワーディングします。



※ ポートの指定は、Network > One-way の MPEG-TS 設定にて行います。

9. Setup メニュー

9.1. Video&Audio

SETUP メニュー画面から”Video&Audio”タブをクリックします。

Video					
	Enable	Algorithm	Resolution	Bitrate	Framerate
Primary Encoding	On	H.264	1920x1080	4894 (kbps)	60 (fps)
Secondary#1 Encoding	On	H.264	720x480	966 (kbps)	60 (fps)
Secondary#2 Encoding	Off	N/A	N/A	0 (kbps)	0 (fps)
Secondary#3 Encoding	Off	N/A	N/A	0 (kbps)	0 (fps)

Audio				
	Enable	Algorithm	Sampling rate	Bitrate
Audio Encoding	On	G.711	8 KHz	57 (kbps)
Audio Decoding	On	-	-	0 (kbps)

➤ Video&Audio メニュー

表示	説明
Information	ビデオとオーディオに関するステータスを表示します。
Video	ビデオ入力形式の選択、解像度やビットレートなどの設定を行います。
Audio	オーディオ入力の設定を行います。
Output	オーディオ出力の設定を行います。

9.1.1. Information

Video&Audio Information Video Audio Output Image Network Event Record Device PTZ User System	Video					
		Enable	Algorithm	Resolution	Bitrate	Framerate
	Primary Encoding	On	H.264	1920x1080	3698 (kbps)	60 (fps)
	Secondary#1 Encoding	On	H.264	720x480	1067 (kbps)	60 (fps)
	Secondary#2 Encoding	Off	N/A	N/A	0 (kbps)	0 (fps)
	Secondary#3 Encoding	Off	N/A	N/A	0 (kbps)	0 (fps)
	Audio					
		Enable	Algorithm	Sampling rate	Bitrate	
	Audio Encoding	On	G.711	8 KHz	66 (kbps)	
	Audio Decoding	On	-	-	0 (kbps)	

表示	説明
Video	ビデオ (Primary/Secondary#1-3) のエンコーディング情報を表示します。
Audio	オーディオのエンコーディング・デコーディング情報を表示します。

9.1.2. Video

Video&Audio

- Information
- Video**
- Audio
- Output

Image +

Network +

Event +

Record +

Device +

PTZ +

User +

System +

View



Performance Calculation

Performance Usage Rate 50%

Video

Input Format: HDMI 1080p60

Video Input Auto Detect: Off

Detected Format: HDMI 1080p60 (1920,1080), SDI Loss

Input Auto Detect

Primary Secondary#1 Secondary#2 Secondary#3

Algorithm: ☒ H.264 ☐ H.265

Resolution: 1920x1080

Framerate: 60

Preference: CBR

Quality: Ultra fine

Bitrate: 4000 kbps (32 ~ 16384)

I-Frame Interval: 60

H.264 Profile: High Profile

Apply

- Performance Calculation

Performance Calculation

Performance Usage Rate 100%

表示	説明
Performance Usage Rate	本機のパフォーマンス使用率を表示します。 この値が 100%を越えないように”Video”の設定を行います。

〈例〉 最大エンコードパフォーマンス ⇒ Primary: 1920x1080p60 + Secondary#1: 1920x080p60
 Primary + Secondary#1-3: 1920x1080p30 (4stream)

- Video

表示	説明
Input Format	リストから入力形式を選択します。[Max: 1920x1080p60]
Video Input Auto Detect	ビデオの検出モードを選択します。 Off: 手動で入力形式を選択するか、Input Auto Detect ボタンをクリックして入力形式を検出させます。 Full Auto: 自動検出し、エンコーディング解像度を固定します。 Semi Auto: 自動検出し、エンコーディング解像度を選択できます。
Detect Format	ソースの入力形式が表示され、エンコーダに接続されているかどうか確認することができます。
Input Auto Detect	クリックすると、Input Auto Detect 画面が表示されます。(上図参照) HDMI および SDI の適切な入力形式が検出されるので、どちらか一方の映像ソースを選択します。 検出されない場合は Refresh ボタンをクリックし、再検出を試してください。 Video Input Auto Detect 設定が “Off” の場合のみ使用可能です。

※Input Format と Detected Format は、同じフォーマットに設定する必要があります。

異なるフォーマットに設定した場合、エンコード映像が正しく表示されない可能性があります。

Primary

Primary	Secondary#1	Secondary#2	Secondary#3
Algorithm ☒ H.264 ☐ H.265			
Resolution 1920x1080			
Framerate 60			
Preference CBR			
Quality Economy			
Bitrate 4000 kbps (32 ~ 16384)			
I-Frame Interval 60			
H.264 Profile High Profile			

表示	説明
Algorithm	H.264 または H.265 から圧縮方式を選択します。
Resolution	ビデオのエンコード解像度を選択します。[Max: 1920x1080]
Framerate	1 秒あたりの最大フレーム数を設定します。[Max: 60] ネットワーク帯域の制限により、実際の映像のフレームレートは設定した最大フレームレートを下回る場合があります。
Preference	エンコーディングモードを選択します。 ビデオ品質 (VBR) またはビットレート (CBR, Hybrid) を制御します。
Quality	ビデオ品質を設定します。[8 段階] Preference で“VBR”を選択した場合、すべてのフレームを一定の品質でエンコードしようとします。 ※入力映像によってはビットレートが大きく変動することがあります。十分なネットワーク帯域幅を確保できる環境でご使用ください。
Bitrate	ビットレート値を設定します。[32-16384kbps] Preference で“CBR”を選択した場合、固定目標ビットレートを設定できます。 ビットレートの制限を守るため、入力映像の変化に応じてビデオ品質を変動させます。 Preference で“Hybrid”を選択した場合、最大ビットレートを設定できます。 入力映像が最大ビットレート値に達しない場合、自動的にビットレートを下げる等、帯域幅を効率的に制御することができます。 ※再生モード (RTSP/MPEG-TS) によっては、映像が乱れることがあります。 Bitrate を調整することで、映像の乱れを改善できる場合があります。
I-Frame Interval	I-Frame を送信する間隔を設定します。[0-255]
H.264 Profile	Algorithm で H.264 を選択した場合、プロファイルを High Profile/Main Profile /Baseline Profile から選択します。

Secondary #1～#3

Primary Secondary#1 Secondary#2 Secondary#3

Enable ☐ Off ☒ On

ROI Encoding ☐ Off ☒ On

Algorithm ☒ H.264 ☐ MJPEG ☐ H.265

Resolution

Framerate

Preference

Quality

Bitrate kbps (32 ~ 4096)

I-Frame Interval

H.264 Profile

表示	説明
Enable	Secondary#1-3 を使用する場合は ON にします。
ROI Encoding	ROI の有効(On)/無効(Off)を選択します。 有効の場合、View 画面上で選択した範囲のみをエンコードします。 ビットレート及びストレージのコストを 30%以上削減できます。
Algorithm	H.264 または H.265、MJPEG から圧縮方式を選択します。※1
Resolution	ビデオのエンコード解像度を選択します。[Max: 1920x1080]
Framerate	ビデオストリームの 1 秒あたりの最大フレーム数を設定します。[Max: 60] ネットワーク帯域の制限により、実際の映像のフレームレートは設定した最大フレームレートを下回る場合があります。
Preference	エンコードモードを選択します。 ビデオ品質 (VBR) またはビットレート (CBR, Hybrid) を制御します。
Quality	ビデオ品質を設定します。[8 段階] Preference で“VBR”を選択した場合、すべてのフレームを一定の品質でエンコードします。 ※入力映像によってはビットレートが大きく変動することがあります。十分なネットワーク帯域幅を確保できる環境でご使用ください。
Bitrate	ビットレート値を設定します。[32-4096kbps] Preference で“CBR”を選択した場合、固定目標ビットレートを設定できます。 Preference で“Hybrid”を選択した場合、最大ビットレートを設定できます。 ※再生モード (RTSP/MPEG-TS) によっては映像が乱れることがあります。 Bitrate を調整することで、映像の乱れを改善できる場合があります。
I-Frame Interval	I-Frame を送信する間隔を設定します。[0-255]
H.264 Profile	Algorithm で H.264 を選択した場合、プロファイルを選択します。

※1 MJPEG の注意事項

- ① Normal/RTSP/RTP/ONVIF での映像伝送をサポートします。
MPEG-TS/SRT/RTMP での映像伝送は未サポートのため、ご使用になれません。
- ② MJPEG 選択時の Preference は VBR のみサポートとなるため、ビットレートは設定できません。
(Full HD/60fps、Quality=Ultra Fine のとき、エンコードビットレートは 50Mbps 程度)映像による

ROI Encoding

Secondary#1-3 では、ROI(関心領域)を設定できます。

- ① ROI Enable を On(有効)にします。
- ② View 画面上でドラッグをすると、ROI の範囲を指定できます。(オレンジと黄色の点滅した枠)
ここでは指定した領域内をエンコードします。



- ③ ROI 設定が完了したら、Apply をクリックします。

9.1.3. Audio

The screenshot shows the 'Video&Audio' settings menu on the left, with 'Audio' selected. The main window displays the 'Audio' configuration options:

- Audio Source: Analog Mic-In
- Algorithm: G.711
- Output Algorithm: G.711
- Bitrate: 64kbps
- Mode: Tx & Rx

An 'Apply' button is located at the bottom right. Below the main window is the 'Input Gain' section, which includes a slider and a numerical value of 25.

● Audio

This is a detailed view of the 'Audio' configuration window, showing the same settings as the previous screenshot:

- Audio Source: Analog Mic-In
- Algorithm: G.711
- Output Algorithm: G.711
- Bitrate: 64kbps
- Mode: Tx & Rx

An 'Apply' button is located at the bottom right.

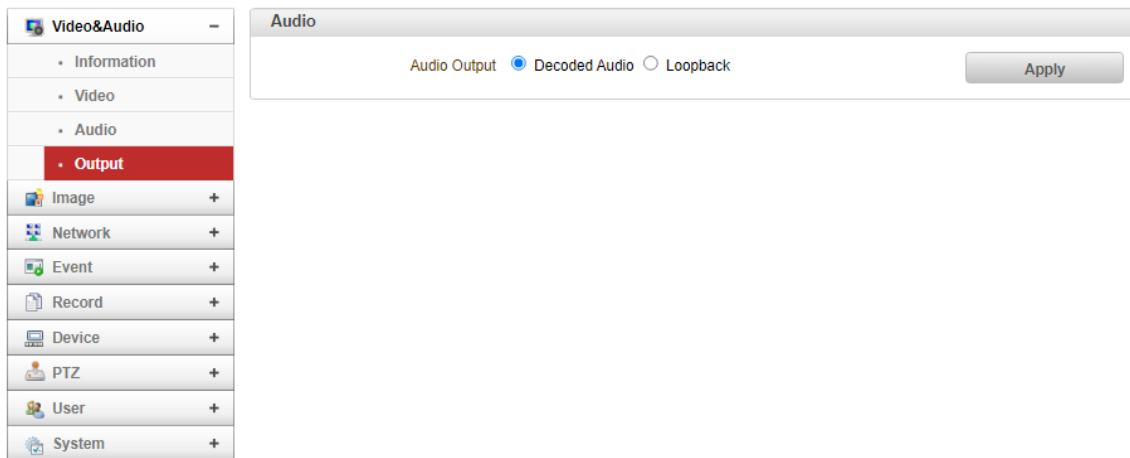
表示	説明
Audio Source	オーディオソースを選択します。 Embedded Audio: 映像に音声信号を組み込む(HDMI 入力) Analog Stereo: 映像と音声を別々に入力(AUDIO 入力)
Algorithm	G.711 または AAC を選択します。※1
Output Algorithm	双方向音声時に使用します。 デコーダ(TCS-1700)の Algorithm と一致させる必要があります。
Sampling rate	サンプリング周波数を選択します。[32kHz/44.1kHz/48kHz]
Bitrate	ビットレートを選択します。[32kbps/64kbps/128kbps/192kbps]
Mode	オーディオ動作モードを Off(送受信なし)、Tx-only(送信のみ)、Rx-only(受信のみ)、Tx & Rx(送受信)から選択します。

※1 エンコード音声について [AAC:ステレオ音声 / G.711:モノラル音声]

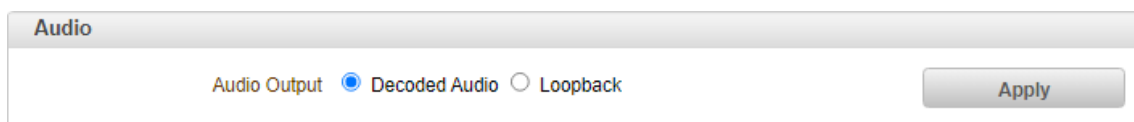
● Input Gain

AUDIO IN から入力した音声に対して、音量調節を行います。[0-31]

The screenshot shows the 'Input Gain' slider, which is currently set to 15. The slider range is from 0 to 31.

9.1.4. Output

● Audio

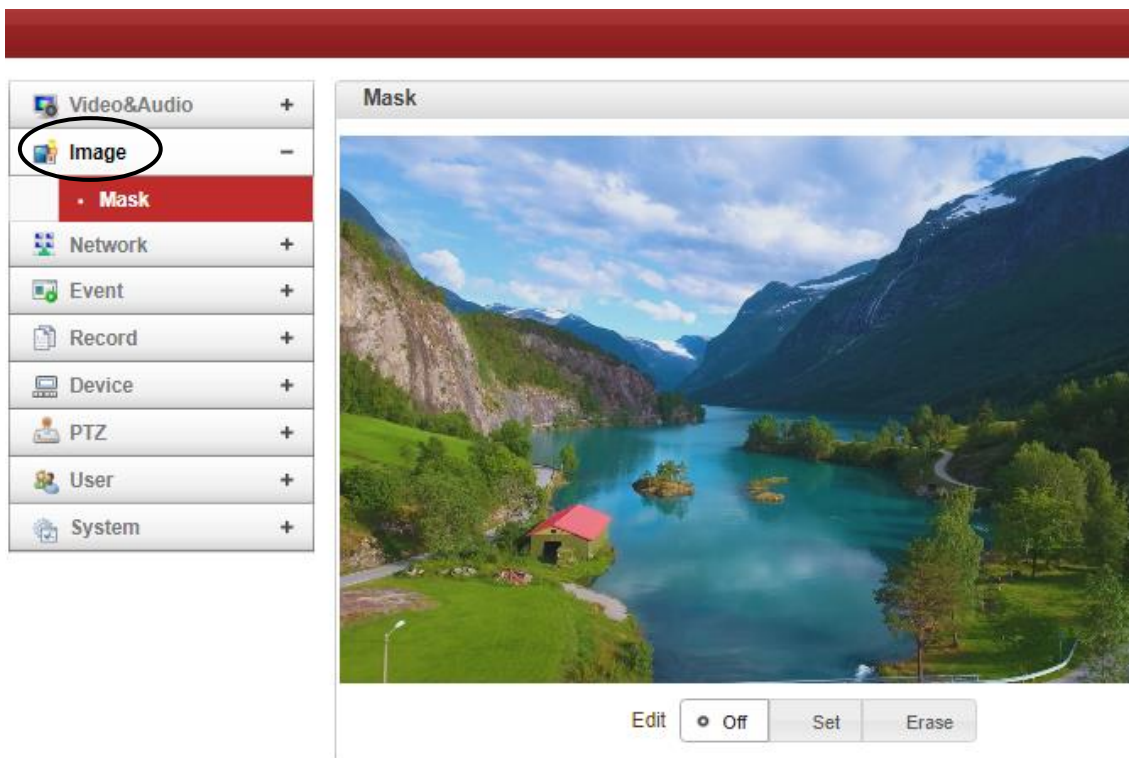


表示	説明
Audio Output	オーディオの出力方式を選択します。 Decoded Audio: 入力した音声は LAN 経由でデコーダに送信されます。 Loopback: 入力した音声をループバックし、TCS-3100N の AUDIO OUT ポートから出力します。

※HDMI OUT は HDMI IN の音声をループアウト、SDI OUT は SDI IN の音声をループアウトします。

9.2. Image

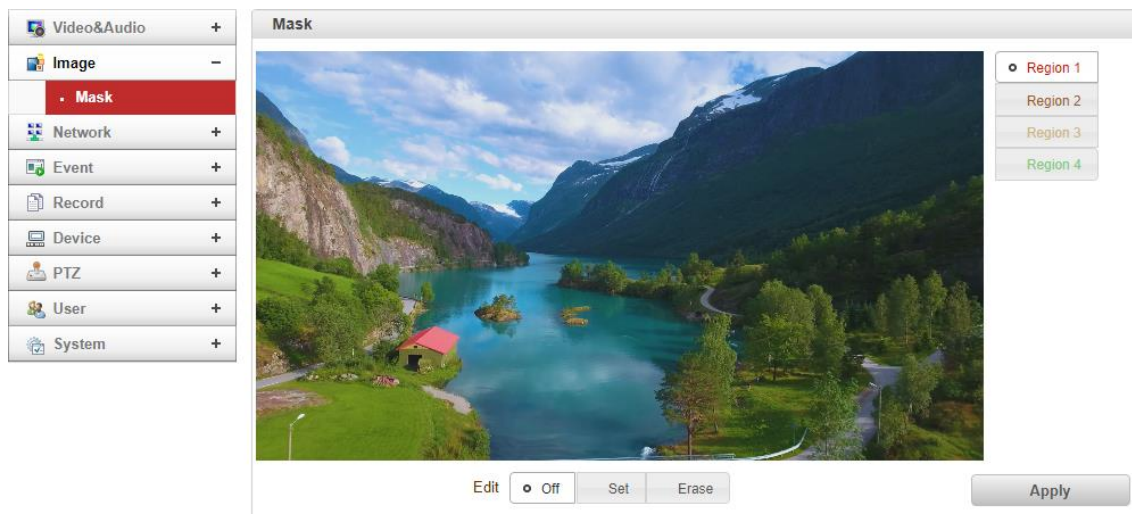
SETUP メニュー画面から”Image”タブをクリックします。



➤ Image メニュー

表示	説明
Mask	指定した領域を非表示(隠す)ことができます。

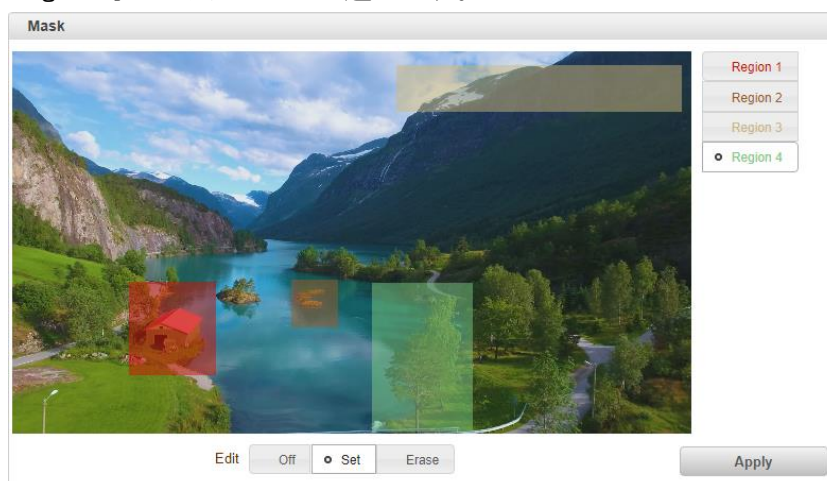
9.2.1. Mask



表示	説明
Edit	Off: マスク設定を無効にします。 Set: マスク(非表示にする領域)を指定します。 Erase: マスクを削除します。
Region 1～4	マスクの領域は最大 4 カ所に設定できます。

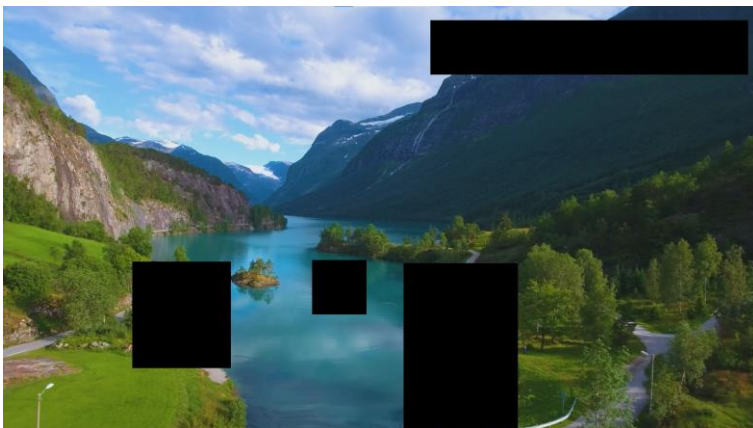
Mask の追加

- ① Edit より“Set”を選択します。
- ② Region 1-4 を選択し、画面上で非表示にする領域をドラッグして指定します。
Region 毎にボックスの色が違います。



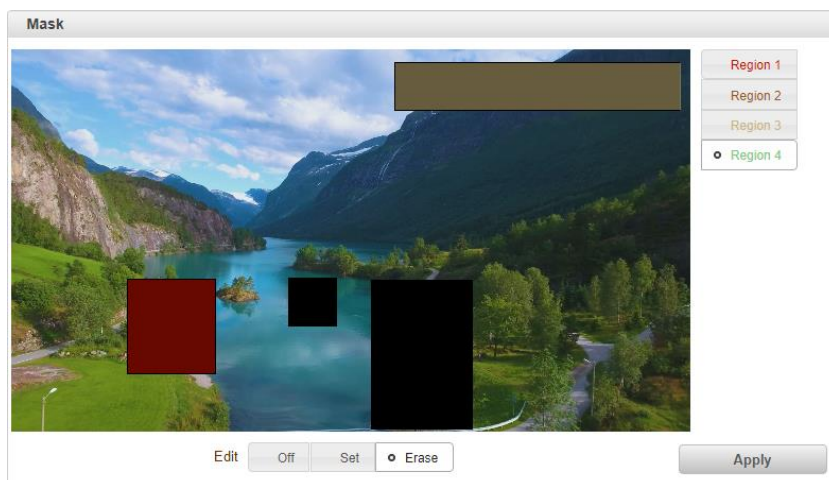
- ③ Apply ボタンをクリックします。

- ④ 再生画面では、指定した領域は黒色のボックスで隠されています。

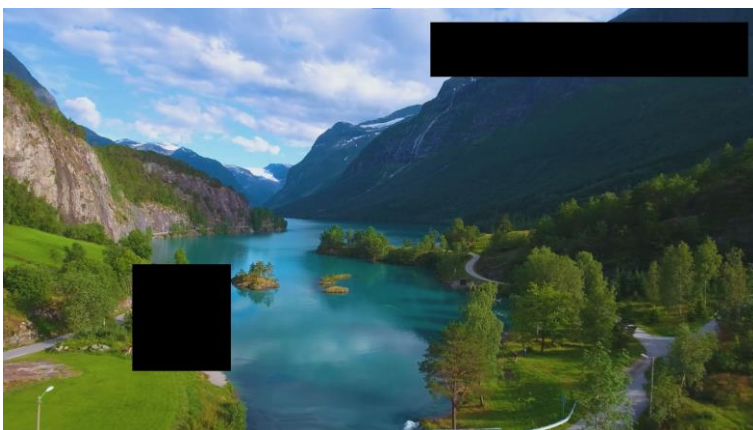


Mask の削除

- ① Edit より“Erase”を選択します。
 ② 画面上の削除したい Region 領域をクリックすると、色付きボックスから黒色のボックスに変わります。



- ③ Apply ボタンをクリックします。
 ④ Mask 画面上からも、再生画面からも黒色のボックスが削除されます。



9.3. Network

SETUP メニュー画面から”Network”タブをクリックします。

The screenshot shows the Network configuration interface. On the left, a sidebar lists various settings, with 'Network' highlighted and circled. The main content area is divided into four sections:

- Local:** IP Mode is set to 'Fixed IP'. Local IP is 192.168.10.100, Local Gateway is 192.168.10.1, and Local Subnet is 255.255.255.0.
- DNS:** The option 'Use the following DNS server addresses' is selected. Primary DNS Server is 8.8.8.8 and Secondary DNS Server is 8.8.8.8.
- IPv6:** IPv6 Address, IPv6 Subnet Prefix Length (0), and IPv6 Default Gateway are empty. IPv6 LinkLocal is fe80::21c:63ff:fed9:1d/64.
- Port:** Base Port is 2222 (range 1025~65535) and HTTP Port is 80 (range 80, 1025~65535).

➤ Network メニュー

表示	説明
IP&Port	IP アドレスやポート番号、MTU サイズなどの設定を行います。
RTSP Multicast	RTSP マルチキャストの設定を行います。
QoS	QoS を使用し、優先度の設定を行います。
Discovery	UPnP などの設定を行います。
One-way	片方向ストリーミング (MPEG-TS、RTMP) の設定を行います。
SRT	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
SNMP	SNMP の設定を行います。
DDNS	DDNS の設定を行います。
IP filtering	データのやり取りを行う相手の制限を行います。
E-mail	Event が起きた際の通知 E-mail の送信設定を行います。
FTP	FTP アップロードの設定を行います。
Connecting	現在システムに接続しているクライアントを表示します。

9.3.1. IP&Port

- Video&Audio + - Image + - Network - IP&Port - RTSP Multicast - QoS - Discovery - One-way - SRT - SNMP - DDNS - IP filtering - E-mail - FTP - Connecting - Event + - Record + - Device + - PTZ + - User + - System +	Local IP Mode: Fixed IP Local IP: 192.168.10.100 Local Gateway: 192.168.10.1 Local Subnet: 255.255.255.0
	DNS ☐ Obtain DNS server address automatically ☒ Use the following DNS server addresses Primary DNS Server: 8.8.8.8 Secondary DNS Server: 8.8.8.8
	IPv6 IPv6 Address: IPv6 Subnet Prefix Length: 0 IPv6 Default Gateway: IPv6 LinkLocal: fe80::21c:63ff:fed9:1d/64
	Port Base Port: 2222 (1025~65535) HTTP Port: 80 (80, 1025~65535) HTTPS Port: 443 (443, 1025~65535) RTSP Port: 554 (554, 1025~65535) Audio Receive Port: 2280 (1025~65535)
	MTU Size MTU Size: 1500 (default:1500, 68~)
	Multicast Multicast IP: 224.10.0.0 (224.0.0.0 ~ 239.255.255.255) TTL: 64 (1~255)
	Apply

- Local

Local

IP Mode

Fixed IP

Local IP

192.168.10.100

Local Gateway

192.168.10.1

Local Subnet

255.255.255.0

表示	説明
IP Mode	Fixed IP (手動設定) または DHCP (自動取得) を選択します。
Local IP	IP アドレスを設定します。 初期値: 192.168.10.100
Local Gateway	デフォルトゲートウェイを設定します。 初期値: 192.168.10.1
Local Subnet	サブネットマスクを設定します。 初期値: 255.255.255.0

※Local 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

- DNS

DNS

☐ Obtain DNS server address automatically

☒ Use the following DNS server addresses

Primary DNS Server

8.8.8.8

Secondary DNS Server

8.8.8.8

表示	説明
Obtain DNS Server Address automatically	IP モードが DHCP の場合、自動的に DNS サーバのアドレスを取得します。
Use the following DNS server address	DNS サーバのアドレスを設定します。
Primary DNS Server	“Use the following DNS server address”を選択している場合、Primary の DNS サーバのアドレスを入力します。
Secondary DNS Server	“Use the following DNS server address”を選択している場合、Secondary の DNS サーバのアドレスを入力します。

※DNS 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

- IPv6

IPv6	
IPv6 Address	
IPv6 Subnet Prefix Length	0
IPv6 Default Gateway	
IPv6 LinkLocal	fe80::21c:63ff:fed9:1d/64

表示	説明
IPv6 Address	指定の IPv6 アドレスを入力します。
IPv6 Subnet Prefix Length	IPv6 サブネットのビット数を入力します。
IPv6 Default Gateway	指定の IPv6 ゲートウェイを入力します。
IPv6 Link Local	IPv6 Link Local アドレスを表示します。

- Port

Port	
Base Port	2222 (1025~65535)
HTTP Port	80 (80, 1025~65535)
HTTPS Port	443 (443, 1025~65535)
RTSP Port	554 (554, 1025~65535)
Audio Receive Port	2280 (1025~65535)

表示	説明
Base Port	ベースポート番号を入力します。 初期値: 2222 [1025~65535] ※変更した場合、本機は自動で再起動を行います。
HTTP Port	Web ベースの接続に使用する HTTP ポート番号を入力します。 初期値: 80 [1025~65535]
HTTPS Port	HTTPS ポート番号を入力します。 初期値: 443 [1025~65535]
RTSP Port	RTSP ベースの接続に使用する RTSP ポート番号を入力します。 初期値: 554 [1025~65535]
Audio Receive Port	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

- MTU Size

MTU Size	
MTU Size	1500 (default: 1500, 68~)

表示	説明
MTU Size	一度に送信できる最大データ量を設定します。 初期値: 1500

※MTU Size 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

- Multicast

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

Multicast	
Multicast IP	224.10.0.0 (224.0.0.0 ~ 239.255.255.255)
TTL	64 (1~255)

※Multicast 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

9.3.2. RTSP Multicast

	Multicast IP	Port
Primary	224.10.0.0	64704
Secondary #1	224.10.0.0	64706
Secondary #2	224.10.0.0	64722
Secondary #3	224.10.0.0	64724
Audio	224.10.0.0	64802
Metadata	224.10.0.0	64902

Apply

● RTSP Multicast

	Multicast IP	Port
Primary	224.10.0.0	64704
Secondary #1	224.10.0.0	64706
Secondary #2	224.10.0.0	64722
Secondary #3	224.10.0.0	64724
Audio	224.10.0.0	64802
Metadata	224.10.0.0	64902

表示	説明
Primary	Primary で再生する場合、ネットワーク URL は以下のように入力します。 例 [rtsp://admin:1234@192.168.10.100:554/video1]
Secondary #1～#3	Secondary で再生する場合、ネットワーク URL は以下のように入力します。 [rtsp://admin:1234@192.168.10.100:554/video1s1]
Audio	音声付きで再生する場合、ネットワーク URL は以下のように入力します。 [rtsp://admin:1234@192.168.10.100:554/video1+audio1]
Metadata	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
Multicast IP	各マルチキャストアドレスを設定します。
Port	ポート番号を設定します。

※再生するときは、オプションの編集を [rtsp-mcast=1] にする必要があります。

9.3.3. QoS

Video&Audio +

Image +

Network -

IP&Port

RTSP Multicast

QoS

Discovery

One-way

SRT

SNMP

DDNS

IP filtering

E-mail

FTP

Connecting

Event +

Record +

Device +

PTZ +

User +

System +

QoS

QoS Enable Off ▼

Apply

● QoS

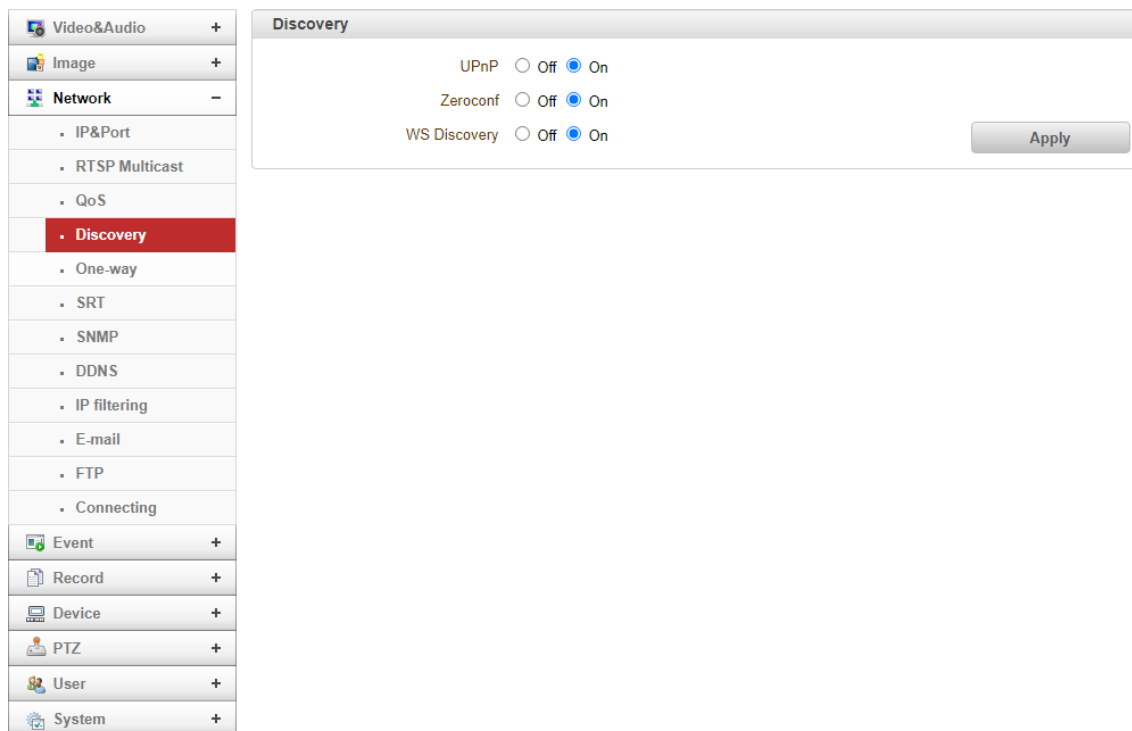
QoS

QoS Enable On ▼

DSCP 0 (0~63)

Apply

表示	説明
QoS Enable	QoS を有効にする場合、On にします。
DSCP	DSCP の値を入力します。[0-63]

9.3.4. Discovery

● Discovery



表示	説明
UPnP	UPnP 機能の有効/無効を選択します。 ネットワーク探索機能によって本機を発見できるようになります。
Zeroconf	Zeroconf 機能の有効/無効を選択します。 ホスト名 (TCS3100.local) が割り当てられ、ホスト名を使用して本機にアクセスできるようになります。
WS Discovery	WS Discovery 機能の有効/無効を選択します。 Onvif をサポートしているクライアントからの検出ができるようになります。

※TCS-3100N が検出されない場合は、ファイアウォールを無効にしてください。

9.3.5. One-way

- One-way Streaming

MPEG-TS

	Enable	Destination IP	Destination Port
Primary	☒	192.168.10.110	50000
Secondary#1	☒	239.1.1.1	12345
Secondary#2	☐		0
Secondary#3	☐		0

表示	説明
Mode	MPEG-TS を選択します。※1
Enable	片方向ストリーム配信を有効にする場合、チェックを入れます。
Destination IP	片方向ストリーム配信の宛先システムの IP アドレスを設定します。 ユニキャスト：宛先 IP アドレスを入力(例: 上図 Primary) マルチキャスト：マルチキャストアドレスを入力(例: 上図 Secondary#1)
Destination Port	片方向ストリーム配信の宛先システムのポート番号を入力します。

※1 MPEG-TS の映像伝送は、[Algorithm:H.264/H.265] を設定してください。

MPEG-TS に音声を組み込む場合は、[Algorithm:AAC] を設定してください。

RTP

One-way Streaming

Mode

Select Video

Destination IP

Destination Port (0, 1026~65534, Even number only)

表示	説明
Mode	RTP を選択します。
Select Video	Primary または Secondary#1 から選択します。※2
Destination IP	RTP ストリームを受信する宛先システムの IP アドレスを設定します。
Destination Port	RTP ストリームを受信する宛先システムのポート番号を入力します。

※2 Secondary#2-3、JPEG Capture は未サポートのためご使用になれません。

RTMP

RTMP は H.264 のみサポートしています。

One-way Streaming

Mode

H.265 RTMP Streaming is not supported.

Primary

Destination IP

StreamName

UserName

Password

Secondary#1

Secondary#2

Secondary#3

表示	説明
Mode	RTMP を選択します。
Primary Secondary#1～3	RTMP 配信を有効にする Primary または Secondary#1-3 は、Enable を選択し、以下の項目を入力します。※3
Destination IP	ストリーム URL を入力します。
Stream Name	ストリームの名前を入力します。
User Name	ユーザ名を入力します。
Password	パスワードを入力します。

※3 RTMP の映像伝送は、[Algorithm: H.264] を設定してください。

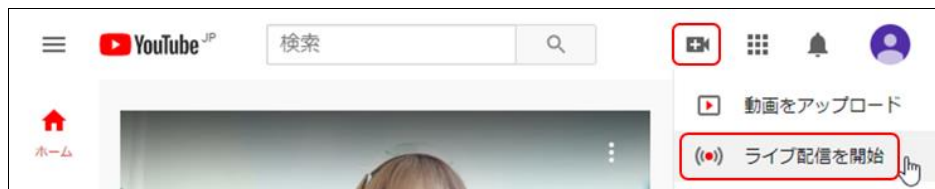
RTMP に音声を組み込む場合は、[Algorithm: AAC] を設定してください。

RTMP 設定例 : YouTube から Live 配信

- ① Google アカウントの登録・ログインを行います。



- ② YouTube 画面の右上にある  をクリックし、「ライブ配信を開始」を選択します。



- ③ 右上の「編集」をから、タイトルやカテゴリ、公開範囲を設定します。



④ ライブ配信の設定を開きます。

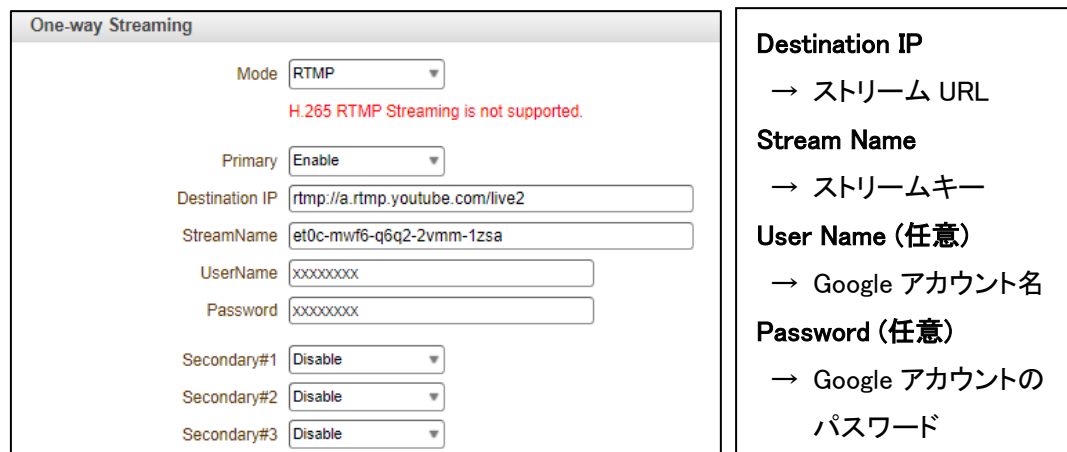
“ストリームキーの選択”から「Default stream key (RTMP、可変)」を選択してください。

その後、“ストリームキー”と“ストリーム URL”をコピーします。



⑤ TCS-3100N より、Network>One-way の設定を行います。

RTMP モードを選択し、Live 配信を行うストリーム“Primary”を Enable、各項目を入力します。



⑥ YouTube の Live 配信画面に戻り、右上の「ライブ配信を開始」をクリックすると配信されます。



9.3.6. SRT

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

The screenshot displays a web-based configuration interface. On the left is a sidebar menu with categories: Video&Audio, Image, Network, Event, Record, Device, PTZ, User, and System. The 'Network' category is expanded, showing sub-items: IP&Port, RTSP Multicast, QoS, Discovery, One-way, SRT (highlighted in red), SNMP, DDNS, IP filtering, E-mail, FTP, and Connecting. The main area is titled 'SRT' and contains four dropdown menus labeled Primary, Secondary#1, Secondary#2, and Secondary#3, all set to 'Off'. Below these is a red warning message: 'Maximum bandwidth is limited. and it can change according to status of network and devices setting.' An 'Apply' button is located at the bottom right of the main area.

Category	Sub-category
Video&Audio	+
Image	+
Network	-
IP&Port	
RTSP Multicast	
QoS	
Discovery	
One-way	
SRT	
SNMP	
DDNS	
IP filtering	
E-mail	
FTP	
Connecting	
Event	+
Record	+
Device	+
PTZ	+
User	+
System	+

SRT

Primary

Secondary#1

Secondary#2

Secondary#3

Maximum bandwidth is limited.
and it can change according to status of network and devices setting.

Apply

9.3.7. SNMP

Video&Audio +
Image +
Network -
IP&Port
RTSP Multicast
QoS
Discovery
One-way
SRT
SNMP
DDNS
IP filtering
E-mail
FTP
Connecting
Event +
Record +
Device +
PTZ +
User +
System +

SNMP

SNMP Listen Port (0, 161, 1025~65535)

SNMP Trap Destination IP

SNMP Trap Destination Port (0, 162, 1025~65535)

SNMP Version

Read Community

Write Community

Apply

● SNMP

SNMP

SNMP Listen Port (0, 161, 1025~65535)

SNMP Trap Destination IP

SNMP Trap Destination Port (0, 162, 1025~65535)

SNMP Version

Read Community

Write Community

表示	説明
SNMP Listen Port	SNMP の待ち受けポートを設定します。 初期値: 161 [1025~65535] ※0 を設定すると SNMP は無効
SNMP Trap Destination IP	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
SNMP Trap Destination Port	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
SNMP Version	SNMP バージョンを 1/2c/3 から選択します。SNMP v3 を選択した場合は、「User Authentication and Privacy(v3)」を設定します。
Read Community	MIB 情報の読み取りを行うコミュニティ名を設定します。
Write Community	MIB 情報の読み書きを行うコミュニティ名を設定します。

- User Authentication and Privacy (v3)

SNMP Version で 3 を選択した場合、以下の設定を行います。

User Authentication and Privacy (v3)

User

Authentication Protocol none ▼

Authentication Password

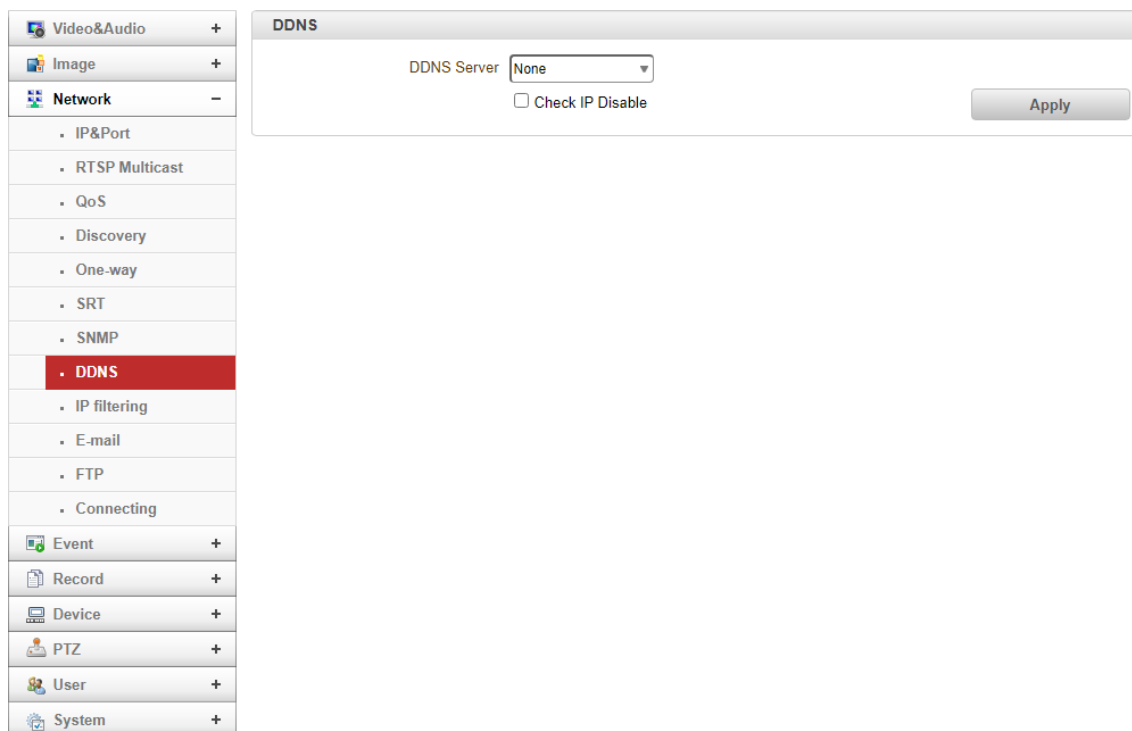
Privacy Protocol none ▼

Privacy Password

表示	説明
User	ユーザ名を入力します。
Authentication Protocol	認証プロトコルを None (ユーザ名で認証)、MD5、SHA から選択します。
Authentication Password	認証パスワードを入力してください。※9 文字以上
Privacy Protocol	暗号化プロトコルを none (暗号化なし)、Des、Aes128 から選択します。
Privacy Password	暗号化パスワードを入力してください。※9 文字以上

9.3.8. DDNS

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。



9.3.9. IP filtering

IP Filtering

Basic Policy: Allow all

Access from IPs in the following list will not be allowed.

No.	From	To	Enable
1	0.0.0.0	0.0.0.0	☐
2	0.0.0.0	0.0.0.0	☐
3	0.0.0.0	0.0.0.0	☐
4	0.0.0.0	0.0.0.0	☐
5	0.0.0.0	0.0.0.0	☐
6	0.0.0.0	0.0.0.0	☐
7	0.0.0.0	0.0.0.0	☐
8	0.0.0.0	0.0.0.0	☐
9	0.0.0.0	0.0.0.0	☐
10	0.0.0.0	0.0.0.0	☐
11	0.0.0.0	0.0.0.0	☐
12	0.0.0.0	0.0.0.0	☐
13	0.0.0.0	0.0.0.0	☐
14	0.0.0.0	0.0.0.0	☐
15	0.0.0.0	0.0.0.0	☐
16	0.0.0.0	0.0.0.0	☐
17	0.0.0.0	0.0.0.0	☐
18	0.0.0.0	0.0.0.0	☐
19	0.0.0.0	0.0.0.0	☐
20	0.0.0.0	0.0.0.0	☐

Apply

● IP Filtering

表示	説明
Basic Policy	Allow all: リストにある IP アドレスからのアクセスを拒否します。 Deny all: リストにある IP アドレスからのアクセスを許可します。
From / To	アクセスを拒否または許可したい IP アドレスの範囲を入力します。
Enable	制限を有効にする場合、チェックを入れます。

9.3.10. E-mail

Video&Audio +

Image +

Network -

IP&Port

RTSP Multicast

QoS

Discovery

One-way

SRT

SNMP

DDNS

IP filtering

E-mail

FTP

Connecting

Event +

Record +

Device +

PTZ +

User +

System +

E-mail

Server Address

Port 25 (25, 465, 587, 1025~65535)

Sender Address

Authentication on SMTP Server ☒ Off ☐ On

ID

Password

SSL ☒ Disable ☐ Enable

Destination Address

E-mail Test

E-mail Notification

Video Clip Attaching Disable

Number of Frame 1 (1 ~ 6)

Capture Interval Skip 1 frame

Apply

● E-mail

E-mail

Server Address

Port 25 (25, 465, 587, 1025~65535)

Sender Address

Authentication on SMTP Server ☒ Off ☐ On

ID

Password

SSL ☒ Disable ☐ Enable

Destination Address

E-mail Test

表示	説明
Server Address	メール送信(SMTP)サーバのアドレスを入力します。
Port	SMTP 操作のためのポートを指定します。 初期値: 25[465、587、1025~65535]
Sender Address	使用する E-mail アドレスを入力します。
Authentication on SMTP Server	E メールを送信する際に SMTP サーバでの認証を必要とする場合は、On にします。
ID	"Authentication on SMTP Server" が On の場合、E メールアカウントの ID とパスワードを入力する必要があります。
Password	

SSL	SSL の有効または無効を選択します。
Destination Address	宛先アドレスを入力します。 ※63 文字まで入力可能。
	このボタンをクリックすると、Eメールの送信テストができます。 ※使用する前に Apply をクリックし、保存してください。

- E-mail Notification

E-mail Notification

Video Clip Attaching Disable ▼

Number of Frame 1 (1 ~ 6)

Capture Interval Skip 1 frame ▼

表示	説明
Video Clip Attaching	通知時にビデオクリップ(映像または画像)を添付するのか選択します。
Number of Frame	“Video Clip Attaching”で“JPEG Capture”を選択した場合のキャプチャ枚数を選択します。[1-6]
Capture Interval	“Video Clip Attaching”で“JPEG Capture”を選択し、“Number of Frame”の値を 2 以上に設定した場合、キャプチャ間隔を設定します。 “Skip 2 frame”を選択すると、3 フレームに 1 枚の間隔でキャプチャします。

9.3.11. FTP

Video&Audio +
Image +
Network -
 • IP&Port
 • RTSP Multicast
 • QoS
 • Discovery
 • One-way
 • SRT
 • SNMP
 • DDNS
 • IP filtering
 • E-mail
• FTP
 • Connecting
Event +
Record +
Device +
PTZ +
User +
System +

FTP
Server Address
Port (21, 1025~65535)
ID
Password
FTP Filename
FTP Base Directory

FTP Test

FTP Upload
Upload Video
Number of Frame (1 ~ 6)
Capture Interval
Continuous Upload
Upload Duration sec (Max 300)
Upload Interval sec (Max 10800)

Apply

- FTP

FTP
Server Address
Port (21, 1025~65535)
ID
Password
FTP Filename
FTP Base Directory

FTP Test

表示	説明
Server Address	ビデオファイルを受信するために、FTP サーバのアドレスを入力します。
Port	FTP 操作のためのポートを指定します。 初期値: 21 [1025~65535]
ID / Password	FTP サーバにアクセスするための ID とパスワードを入力します。
FTP Filename	FTP によりアップロードするファイル名をユーザが指定できます。※1 ※ファイル名は 60 文字まで。 ファイル名には、以下のマクロが使用できます。 %EVENT: イベントタイプ (Sensor1 等)、%ADDR: サーバのアドレス %YYYY: 西暦、%MM: 月、%DD: 日、%hh: 時、%mm: 分、%ss: 秒

FTP Base Directory	FTP サーバに作成するディレクトリの名前を指定します。
FTP Test	クリックすると、FTP アップロード機能をテストすることができます。 ※使用する前に Apply をクリックし、設定を保存してください。

※1 【例】 %EVENT_%YYYY.%MM.%DD_%hh.%mm.%ss → Sensor1_2020.05.19_10.07.31.jpg

- FTP Upload

FTP Upload

Upload Video

Primary Video

Number of Frame

1

(1 ~ 6)

Capture Interval

Skip 1 frame

Continuous Upload

Off

Upload Duration

10

sec (Max 300)

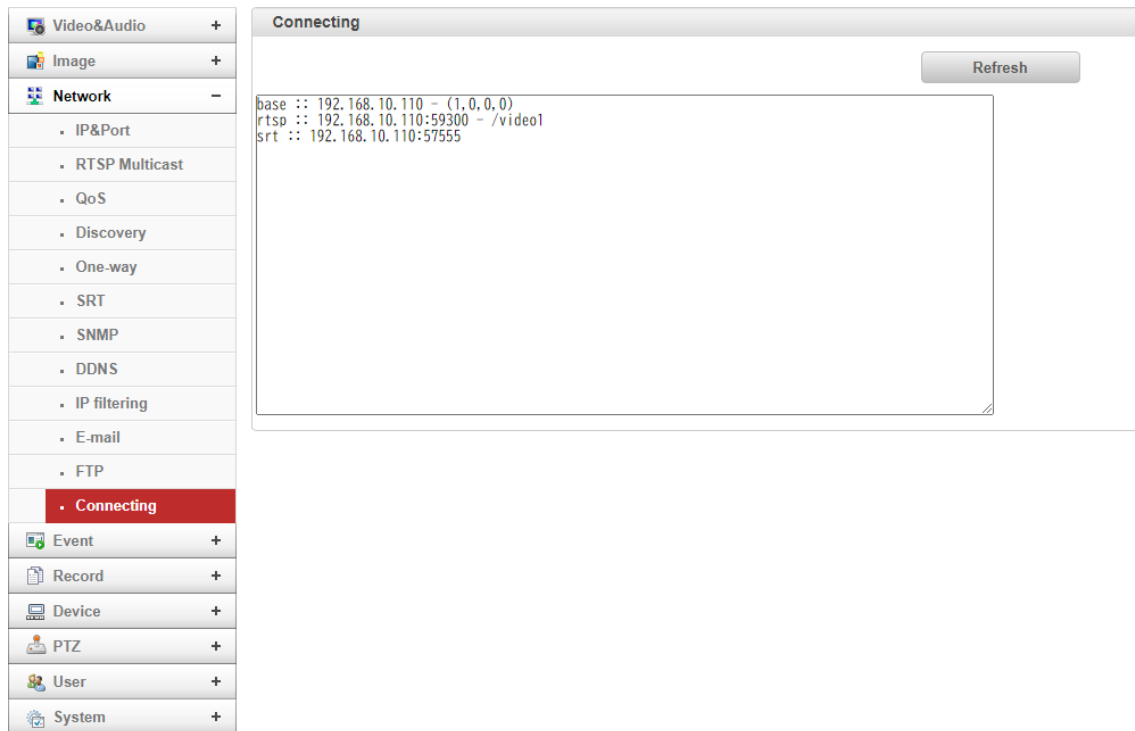
Upload Interval

300

sec (Max 10800)

表示	説明
Upload Video	FTP サーバにアップロードするファイルを、Primary video、Secondary video(H.264 のみ)、JPEG キャプチャの中から選択します。
Number of Frame	“Upload Video”で“JPEG Capture”を選択した場合のキャプチャ枚数を選択します。[1-6]
Capture Interval	“Upload Video”で“JPEG Capture”を選択し、“Number of Frame”の値を 2 以上に設定した場合のキャプチャ間隔を設定します。 “Skip 2 frame”を選択すると、3 フレームに 1 枚の間隔でキャプチャします。
Continuous Upload	定期的な FTP サーバへのアップロードを有効または無効に設定します。 On の場合、下の二つが設定を行います。
Upload Duration	ビデオクリップの録画時間を指定し、アップロードします。[最大 300 秒] 一つのファイルの最大容量が 1.5MB 程度のため、設定時間より短い時間の録画ファイルが作成される場合があります。
Upload Interval	FTP サーバへのアップロード間隔を指定します。[最大 10800 秒]

9.3.12. Connecting



表示	説明
Connecting	現在システムに接続しているクライアント IP アドレスが記載されます。
Refresh	表示を更新します。

9.4. Event

SETUP メニュー画面から”Event”タブをクリックします。

Local						
Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset
Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset
On Video Loss	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset
On Motion	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset
Audio Detection	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset

Remote						
Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset
Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset
Sensor 3	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset
Sensor 4	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset

On Disconnect						
On Disconnect	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset

User Defined Event						
User Defined 1	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset
User Defined 2	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset

➤ Event メニュー

表示	説明
Notification	イベント発生時の対応方法の選択を行います。
User Defined Event	イベントの種類(時間変更、録画ステータスの異常)の選択を行います。
Motion Detection	動体検知の設定を行います。
Audio Detection	検知する音声の制限をかけられます。
Sensor	センサーのタイプ・スケジュールの設定を行います。
Alarm	イベント発生時のアラームまたはビーブ音の長さの設定を行います。
Event OSD	イベント発生時に表示する OSD の設定を行います。
HTTP Action	イベント発生時に作動させる HTTP API の設定を行います。

9.4.1. Notification

Video&Audio +	Local <table border="1"> <tr><td>Sensor 1</td><td>Beep</td><td>Alarm1</td><td>Alarm2</td><td>E-mail</td><td>FTP</td><td>Preset</td><td>No Preset</td><td>Event OSD Off</td><td>Http Action Off</td></tr> <tr><td>Sensor 2</td><td>Beep</td><td>Alarm1</td><td>Alarm2</td><td>E-mail</td><td>FTP</td><td>Preset</td><td>No Preset</td><td>Event OSD Off</td><td>Http Action Off</td></tr> <tr><td>On Video Loss</td><td>Beep</td><td>Alarm1</td><td>Alarm2</td><td>E-mail</td><td>FTP</td><td>Preset</td><td>No Preset</td><td>Event OSD Off</td><td>Http Action Off</td></tr> <tr><td>On Motion</td><td>Beep</td><td>Alarm1</td><td>Alarm2</td><td>E-mail</td><td>FTP</td><td>Preset</td><td>No Preset</td><td>Event OSD Off</td><td>Http Action Off</td></tr> <tr><td>Audio Detection</td><td>Beep</td><td>Alarm1</td><td>Alarm2</td><td>E-mail</td><td>FTP</td><td>Preset</td><td>No Preset</td><td>Event OSD Off</td><td>Http Action Off</td></tr> </table> Remote <table border="1"> <tr><td>Sensor 1</td><td>Beep</td><td>Alarm1</td><td>Alarm2</td><td>E-mail</td><td>FTP</td><td>Preset</td><td>No Preset</td><td>Event OSD Off</td><td>Http Action Off</td></tr> <tr><td>Sensor 2</td><td>Beep</td><td>Alarm1</td><td>Alarm2</td><td>E-mail</td><td>FTP</td><td>Preset</td><td>No Preset</td><td>Event OSD Off</td><td>Http Action Off</td></tr> <tr><td>Sensor 3</td><td>Beep</td><td>Alarm1</td><td>Alarm2</td><td>E-mail</td><td>FTP</td><td>Preset</td><td>No Preset</td><td>Event OSD Off</td><td>Http Action Off</td></tr> <tr><td>Sensor 4</td><td>Beep</td><td>Alarm1</td><td>Alarm2</td><td>E-mail</td><td>FTP</td><td>Preset</td><td>No Preset</td><td>Event OSD Off</td><td>Http Action Off</td></tr> </table> On Disconnect <table border="1"> <tr><td>On Disconnect</td><td>Beep</td><td>Alarm1</td><td>Alarm2</td><td>E-mail</td><td>FTP</td><td>Preset</td><td>No Preset</td><td>Event OSD Off</td><td>Http Action Off</td></tr> </table> User Defined Event <table border="1"> <tr><td>User Defined 1</td><td>Beep</td><td>Alarm1</td><td>Alarm2</td><td>E-mail</td><td>FTP</td><td>Preset</td><td>No Preset</td><td>Event OSD Off</td><td>Http Action Off</td></tr> <tr><td>User Defined 2</td><td>Beep</td><td>Alarm1</td><td>Alarm2</td><td>E-mail</td><td>FTP</td><td>Preset</td><td>No Preset</td><td>Event OSD Off</td><td>Http Action Off</td></tr> <tr><td>User Defined 3</td><td>Beep</td><td>Alarm1</td><td>Alarm2</td><td>E-mail</td><td>FTP</td><td>Preset</td><td>No Preset</td><td>Event OSD Off</td><td>Http Action Off</td></tr> <tr><td>User Defined 4</td><td>Beep</td><td>Alarm1</td><td>Alarm2</td><td>E-mail</td><td>FTP</td><td>Preset</td><td>No Preset</td><td>Event OSD Off</td><td>Http Action Off</td></tr> </table> Apply	Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off	Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off	On Video Loss	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off	On Motion	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off	Audio Detection	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off	Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off	Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off	Sensor 3	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off	Sensor 4	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off	On Disconnect	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off	User Defined 1	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off	User Defined 2	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off	User Defined 3	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off	User Defined 4	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off
Sensor 1		Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off																																																																																																																																			
Sensor 2		Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off																																																																																																																																			
On Video Loss		Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off																																																																																																																																			
On Motion		Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off																																																																																																																																			
Audio Detection		Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off																																																																																																																																			
Sensor 1		Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off																																																																																																																																			
Sensor 2		Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off																																																																																																																																			
Sensor 3		Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off																																																																																																																																			
Sensor 4		Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off																																																																																																																																			
On Disconnect	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off																																																																																																																																				
User Defined 1	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off																																																																																																																																				
User Defined 2	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off																																																																																																																																				
User Defined 3	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off																																																																																																																																				
User Defined 4	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off																																																																																																																																				
Image +																																																																																																																																													
Network +																																																																																																																																													
Event -																																																																																																																																													
Notification																																																																																																																																													
User Defined Event																																																																																																																																													
Motion Detection																																																																																																																																													
Audio Detection																																																																																																																																													
Sensor																																																																																																																																													
Alarm																																																																																																																																													
Event OSD																																																																																																																																													
HTTP Action																																																																																																																																													
Record +																																																																																																																																													
Device +																																																																																																																																													
PTZ +																																																																																																																																													
User +																																																																																																																																													
System +																																																																																																																																													

- Local

Local のイベントに対するアクションを設定します。

Local									
Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off
Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off
On Video Loss	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off
On Motion	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off
Audio Detection	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off

表示	説明
Sensor 1～2	センサーが起動したときのアクションを設定します。
On Video Loss	ビデオ入力信号が失われたときのアクションを設定します。
On Motion	動体検知機能によって、動きが検出されたときのアクションを設定します。
Audio Detection	音声検知機能によって、音声を検出されたときのアクションを設定します。

- Remote

Remote (デコーダ側) のセンサーが起動したときのアクションを設定します。

Remote									
Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off
Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off
Sensor 3	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off
Sensor 4	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset	Event OSD Off	Http Action Off

- On Disconnect

リンク(接続)が切断されたときのアクションを設定します。

On Disconnect									
On Disconnect	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼

- User Defined Event

User Defined Event で設定したイベントに対するアクションを設定します。

User Defined Event									
User Defined 1	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
User Defined 2	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
User Defined 3	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
User Defined 4	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼

各アクションについて

表示	説明
Beep	本機からビープ音が鳴ります。
Alarm	アラーム 1 またはアラーム 2 のリレー回路を作動させます。
E-mail	指定されたアドレスに E メールを送信します。録画ファイルも添付可能です。
FTP	指定した FTP サーバへ録画ファイルをアップロードします。
Preset	プリセット位置にカメラを移動します。
Event OSD	画面上に OSD を表示します。
HTTP API	HTTP API を送信します。

9.4.2. User Defined Event

- User Defined Event

表示	説明
Time Change	システム時間が変更されたときにイベントを発生させます。
Record Status	録画の異常停止や USB ディスクの切断など、録画ステータスが異常と判断されたときにイベントを発生させます。

9.4.3. Motion Detection

Video&Audio +
Image +
Network +
Event -

- Notification
- User Defined Event
- Motion Detection**
- Audio Detection
- Sensor
- Alarm
- Event OSD
- HTTP Action

Record +
Device +
PTZ +
User +
System +

Motion Detection

Use Motion Detection ☐ Off ☒ Region-based



Sensitivity(0 for most sensitive)

- ☒ Region 1
- Region 2
- Region 3
- Region 4
- Region 5
- Region 6
- Region 7
- Region 8

Edit ☐ Off

Motion Schedule

Select ☒ Motion Disable

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

● Motion Detection

Motion Detection

Use Motion Detection ☐ Off ☒ Region-based



Sensitivity(0 for most sensitive)

- ☒ Region 1
- Region 2
- Region 3
- Region 4
- Region 5
- Region 6
- Region 7
- Region 8

Edit ☐ Off

表示	説明
Use Motion Detection	動体検知機能を使用する場合、Region-based を選択し、下の画面から動体検知を行う領域をマウスドラッグで選択します。
Edit	領域を指定する場合は Set、削除する場合は Erase を選択します。
Region 1～8	動体検知を行う領域を最大 8 カ所設定できます。
Sensitivity	各 Region で動体検知の感度を設定します。[0-10] ※0 が最も感度が高くなります。

- Motion Schedule

Motion Schedule

Select

☒ Motion Disable
☐ Motion Enable

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

Apply

表示	説明
Select	Motion Enable (有効) または Motion Disable (無効) を選択し、クリックやドラッグで動体検知のスケジュール表を作成します。 青色部分が有効な時間帯、グレー部分が無効な時間帯を表します。

9.4.4. Audio Detection

● Audio Detection

表示	説明
Mode	Silence Detection または Sound Detection を選択します。
Detection Level	音声検知の閾値(レベル)を設定します。[-10dBFS]～[-60dBFS] Silence Detection を選択した場合は、閾値より音声信号が小さい場合にイベントを発生させます。 Sound Detection を選択した場合は、閾値より音声信号が大きい場合にイベントを発生させます。
Duration	Silence と Sound で、検知のイベントを発生させるタイミングが異なります。 Silence: 閾値より音声信号が小さい時間が Duration 時間を超えたときに、イベント発生させます。 Sound: 閾値より音声信号が大きくなるとイベントが発生し、Duration ではイベント持続時間を設定します。

9.4.5. Sensor

Video&Audio +
Image +
Network +
Event -

- Notification
- User Defined Event
- Motion Detection
- Audio Detection
- Sensor**
- Alarm
- Event OSD
- HTTP Action

Record +
Device +
PTZ +
User +
System +

Sensor Type

Sensor 1 Off ☒ N/O N/C
Sensor 2 Off ☒ N/O N/C

Sensor Schedule

Select ☒ Sensor Off ☐ Sensor On

Sensor 1

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

Sensor 2

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

● Sensor Type

Sensor Type

Sensor 1 Off ☒ N/O N/C
Sensor 2 Off ☒ N/O N/C

表示	説明
Off	センサーを使用しません。
N/O	ポートが開いている状態が正常で、閉じたときにイベントが発生するように設定します。(Normally Open)
N/C	ポートが閉じている状態が正常で、開いたときにイベントが発生するように設定します。(Normally Close)

- Sensor Schedule

Sensor Schedule

Select ☒ Sensor Off ☐ Sensor On

Sensor 1

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

Sensor 2

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

表示	説明
Select	Sensor Off(無効)または Sensor On(有効)を選択します。
Sensor 1~2	クリックまたはドラッグでセンサーのスケジュール表を作成します。 青色部分が有効な時間帯、グレー部分が無効な時間帯を表します。

9.4.6. Alarm

Video&Audio +
Image +
Network +
Event -
 Notification
 User Defined Event
 Motion Detection
 Audio Detection
 Sensor
 Alarm
 Event OSD
 HTTP Action
Record +
Device +
PTZ +
User +
System +

Alarm

Beep Duration Synchronous
Alarm1 Duration 1 sec
Alarm2 Duration 1 sec

Apply

● Alarm

Alarm

Beep Duration Synchronous
Alarm1 Duration 1 sec
Alarm2 Duration 1 sec

Apply

表示	説明
Beep Duration	ビープ音が鳴る継続時間を設定します。
Alarm1/2 Duration	アラーム回路を短絡させる継続時間を設定します。

Duration について

表示	説明
Synchronous	関連付けたイベントが発生している間、ビープ音またはアラーム回路を作動させます。
1, 5, 10, 30, 60 sec	発生後も 1/5/10/30/60 秒間、ビープ音またはアラーム回路を作動し続けます。
Continuous	手動で止めるまで、ビープ音またはアラーム回路を作動させます。

9.4.7. Event OSD

- Video&Audio +
- Image +
- Network +
- Event -**
 - Notification
 - User Defined Event
 - Motion Detection
 - Audio Detection
 - Sensor
 - Alarm
 - Event OSD**
 - HTTP Action
- Record +
- Device +
- PTZ +
- User +
- System +

Event OSD

No.	Display Event Type	String	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color
1.	☐		0	0	30	White ▼
2.	☐		0	0	30	White ▼
3.	☐		0	0	30	White ▼
4.	☐		0	0	30	White ▼

OSD Display Time

OSD Display Time

For events where the end time is not defined - User Defined Event , On Disconnect

● Event OSD

Event OSD

No.	Display Event Type	String	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color
1.	☐		0	0	30	White ▼
2.	☐		0	0	30	White ▼
3.	☐		0	0	30	White ▼
4.	☐		0	0	30	White ▼

表示	説明
Display Event Type	String で設定した文字列の前に、イベントタイプを挿入する場合はチェックを入れます。
String	画面上に表示したい任意の文字列を入力します。 最大 63 文字（日本語は最大 21 文字） 英数記号(¥のみ使用不可)、日本語(ひらがな/カタカナ/漢字)使用可能
X-Coord	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。[0-1000]
Y-Coord	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。[0-1000]
Font Size	フォントサイズを設定します。[12-84]
Color	フォントの色を設定します。

- OSD Display Time

OSD Display Time

OSD Display Time

For events where the end time is not defined - User Defined Event , On Disconnect

表示	説明
OSD Display Time	OSD を表示し続ける時間を設定※1 該当イベント: On Disconnect / Time Change / Record Status

※1 1sec のみ未サポートとなります

9.4.8. HTTP Action

Video&Audio +	HTTP Action					
Image +	No .	String	Auth Type	ID	PW	Enable
Network +	1.		None ▼			☐
Event -	2.		None ▼			☐
Notification	3.		None ▼			☐
User Defined Event	4.		None ▼			☐
Motion Detection						
Audio Detection						
Sensor						
Alarm						
Event OSD						
HTTP Action						
Record +						
Device +						
PTZ +						
User +						
System +						

Apply

- HTTP Action

HTTP Action						
No .	String	Auth Type	ID	PW	Enable	
1.		None ▼			☐	
2.		None ▼			☐	
3.		None ▼			☐	
4.		None ▼			☐	

表示	説明
String	HTTP API の命令を入力します。 入力文字列については、下記の「HTTP API の入力例」をご参照ください。
Auth Type	User > Login Policy の認証タイプに従って、HTTP API の認証タイプを設定します。 Auth Type の選択方法は、「Auth Type の設定基準」をご参照ください。
ID	ログイン時に使用するユーザ名を入力します。
PW	ログイン時に使用するパスワードを入力します。
Enable	入力した命令の有効/無効を設定します。

➤ HTTP API の入力例

《例 1》再起動

http://<server>/httpapi/WriteParam?action=writeparam&SYS_REBOOT=0

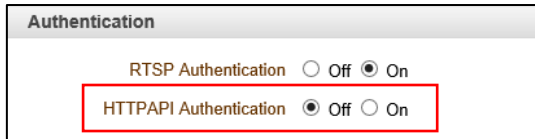
《例 2》プリセット 1 へ移動

http://<server>/httpapi/SendPTZ?action=sendptz&PTZ_CHANNEL=1&PTZ_PRESETGOTO=1

➤ Auth Type の設定基準

HTTPAPI Authentication: Off の場合

HTTP API 認証が無効のため、Auth Type は “None” を選択します。



Authentication

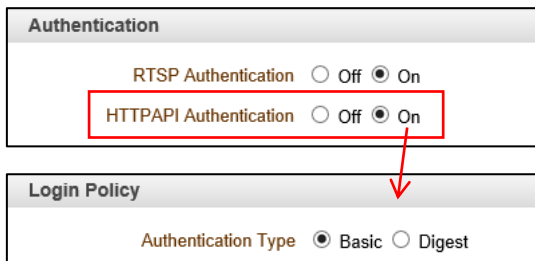
RTSP Authentication ☐ Off ☒ On

HTTPAPI Authentication ☒ Off ☐ On

HTTPAPI Authentication: On の場合

HTTP API 認証が有効のため、Login Policy の Authentication Type に従う必要があります。

- Authentication Type: Basic の場合は、Auth Type も “Basic” を選択
- Authentication Type: Digest の場合は、Auth Type も “Digest” を選択



Authentication

RTSP Authentication ☐ Off ☒ On

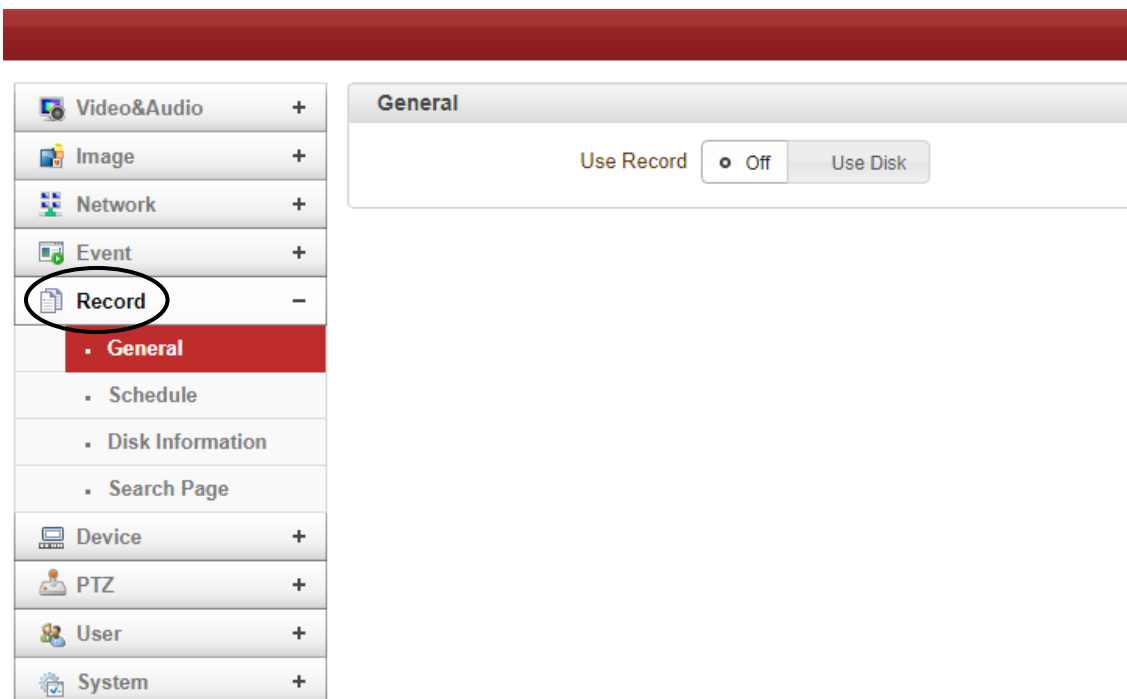
HTTPAPI Authentication ☐ Off ☒ On

Login Policy

Authentication Type ☒ Basic ☐ Digest

9.5. Record

SETUP メニュー画面から”Record”タブをクリックします。



➤ Record メニュー

表示	説明
General	録画の設定を行います。
Schedule	録画のスケジュール設定を行います。
Disk Information	録画情報や容量が確認できます。
Search Page	録画されたデータを探すことができます。

9.5.1. General

- General

表示	説明
Use Record	Off: 録画機能が OFF になります。 Use Disk: 録画機能が ON になります。設定後に再起動します。
Select Video	録画するビデオストリーム (Primary, Secondary#1-3) を選択します。
Manual Record	Off: スケジュール通りに録画します。 On: スケジュール関係なく常時録画を行います。
Overwrite	ディスクが容量不足になると、最も古いデータから削除されます。
Max File Size	録画ファイルのサイズを制限するため、最大ファイルサイズを選択します。
Max File Length	録画ファイルの時間の長さを制限するため、録画の最大時間を選択します。
Record File format	録画ファイル形式を MP4※1または AVI から選択します。
Automatically Backup to FTP	On を選択した場合、自動的に FTP サーバへバックアップします。

Erase after Backup	FTP サーバへバックアップしたデータは、ディスクから削除されます。
Start Time of Backup Date	バックアップを開始する日付と時間帯を設定します。

※1 MP4 の注意事項

MP4 で録画する場合は、H.264 を推奨します。

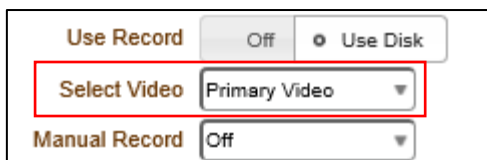
H.265 での録画は可能ですが、ブラウザ上での録画再生が未サポートとなります。

MJPEG での録画は未サポートとなります。(AVI での録画は可能)

録画機能を使用する場合

エンコード映像を録画します。

Select Video で、Primary/Secondary#1-3 の 4 ストリームから 1 つを選択し、録画を行います。



※解像度やフレームレート、画質等は、Video&Audio > Video で設定して下さい。

録画ファイルの作成について

録画ファイルのファイルサイズ(Max File Size)、録画時間(Max File Length)のどちらか一方が最大値に達した場合、新しい録画ファイルが作成されます。

録画のステータスを確認

LIVE 画面で、録画ステータスを確認できます。赤は録画 ON、消灯は録画 OFF を表します。



9.5.2. Schedule

Video&Audio +
Image +
Network +
Event +
Record -
General
Schedule
Disk Information
Search Page
Device +
PTZ +
User +
System +

Event Type

Event Type 1	Sensor1	Sensor2	Motion	Video Loss	Audio Detection	UserDefined 1	UserDefined 2	UserDefined 3	UserDefined 4
Event Type 2	Sensor1	Sensor2	Motion	Video Loss	Audio Detection	UserDefined 1	UserDefined 2	UserDefined 3	UserDefined 4
Event Type 3	Sensor1	Sensor2	Motion	Video Loss	Audio Detection	UserDefined 1	UserDefined 2	UserDefined 3	UserDefined 4
Event Type 4	Sensor1	Sensor2	Motion	Video Loss	Audio Detection	UserDefined 1	UserDefined 2	UserDefined 3	UserDefined 4

Pre-event Time None

Post-event Time None

Schedule Table

Select ☐ Record Off ☐ Continuous ☐ Disconnect

Event Type 1 Event Type 2 Event Type 3 Event Type 4

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

● Event Type

Event Type

Event Type 1	Sensor1	Sensor2	Motion	Video Loss	Audio Detection	UserDefined 1	UserDefined 2	UserDefined 3	UserDefined 4
Event Type 2	Sensor1	Sensor2	Motion	Video Loss	Audio Detection	UserDefined 1	UserDefined 2	UserDefined 3	UserDefined 4
Event Type 3	Sensor1	Sensor2	Motion	Video Loss	Audio Detection	UserDefined 1	UserDefined 2	UserDefined 3	UserDefined 4
Event Type 4	Sensor1	Sensor2	Motion	Video Loss	Audio Detection	UserDefined 1	UserDefined 2	UserDefined 3	UserDefined 4

Pre-event Time None

Post-event Time None

表示	説明
Event Type 1～4	録画を開始するトリガを設定します。4 つまでイベントタイプが設定でき、それぞれセンサー、ビデオロス、音声検知、時間変更通知などの組み合わせで行うことができます。
Pre-event Time	イベント発生の何秒前から録画を開始するのか設定します。
Post-event Time	イベント収束の何秒後まで録画を継続するのか設定します。

- Schedule Table

Schedule Table

Select

Record Off

Continuous

Disconnect

Event Type 1

Event Type 2

Event Type 3

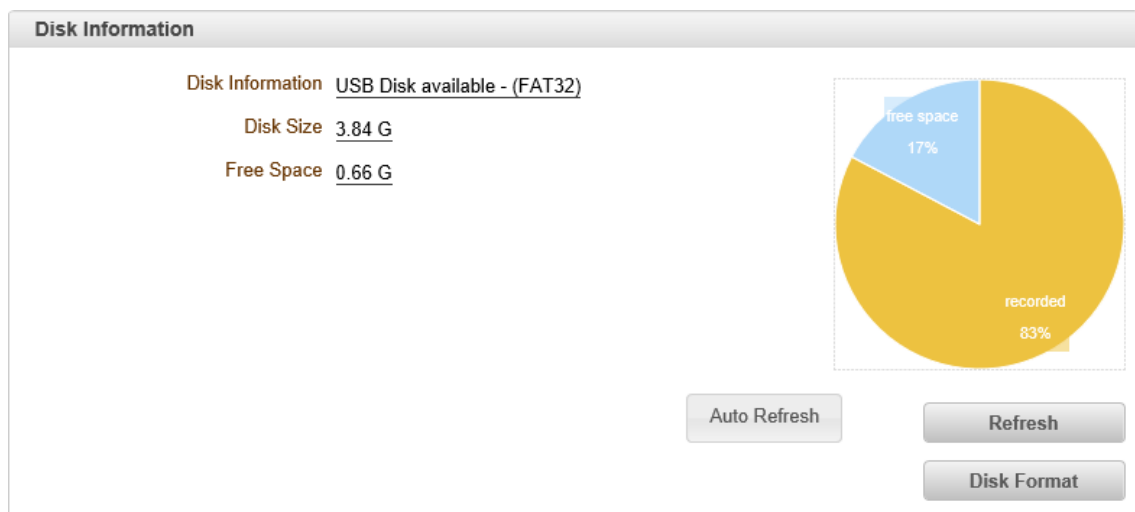
Event Type 4

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

表示	説明
Select	Record Off、Continuous、Disconnect、Event Type から選択します。 Record Off: 録画を行いません。 Continuous: 常時録画を行います。 Disconnect: システムが最後のクライアント(デコーダ、VMS/NVR)などとの接続を失ったときに録画が開始されます。 Event Type: 上のイベントタイプ設定で構成されたイベントをスケジュールで録画を行います。

9.5.3. Disk Information

- Disk Information



表示	説明
Disk Information	ディスクのステータスを表示します。 詳細は下記の <u>Disk Information</u> を参照してください。
Disk Size	ディスクの容量を表示します。
Free Space	ディスクの空き容量を表示します。
Auto Refresh	1 分間隔で自動的に更新します。
Refresh	クリックすると更新します。
Disk Format	ディスクをフォーマットして、本機を再起動します。

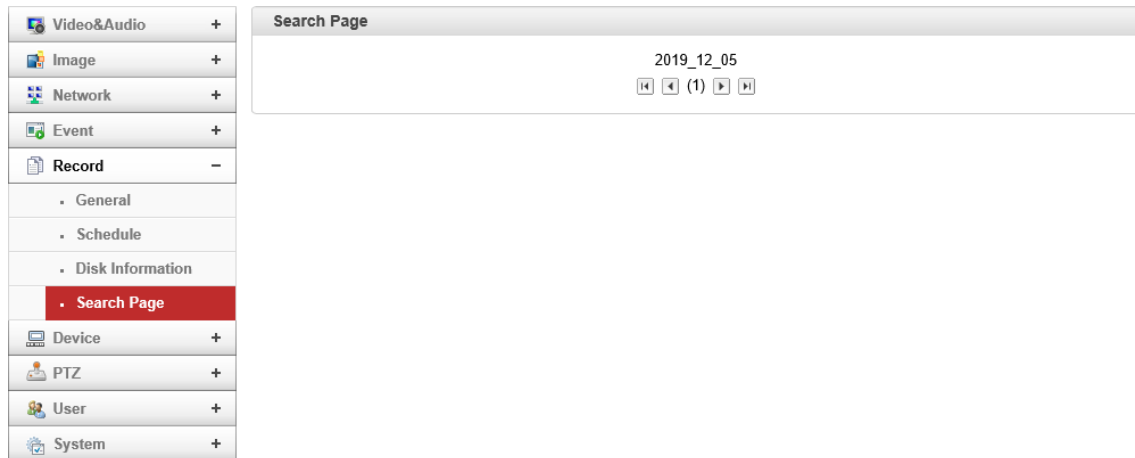
Disk Information

ディスクステータス	説明
Disk error detected	エラーを検出しました。
Not disk	システムにディスクが接続されていません。
Searching Disk Information	ディスクのステータスを確認しています。ページを更新またはステータスが変更されるまで待機してください。
Mounting and Recovering Disk	ディスクの損傷が見つかったときに、リカバリプロセスを実行します。回復には数秒から数分かかります。
Disk format needed	ディスクは接続されていますが、ファイルシステムの種類が不明、または破損している可能性があります。
Unknown disk type detected	
USB Disk available	USB ディスクは使用可能です。
Disk removed or in abnormal state	動作中にディスクがデータ化されるか、ファイルシステムに損傷があります。ディスクをフォーマットすることを推奨します。

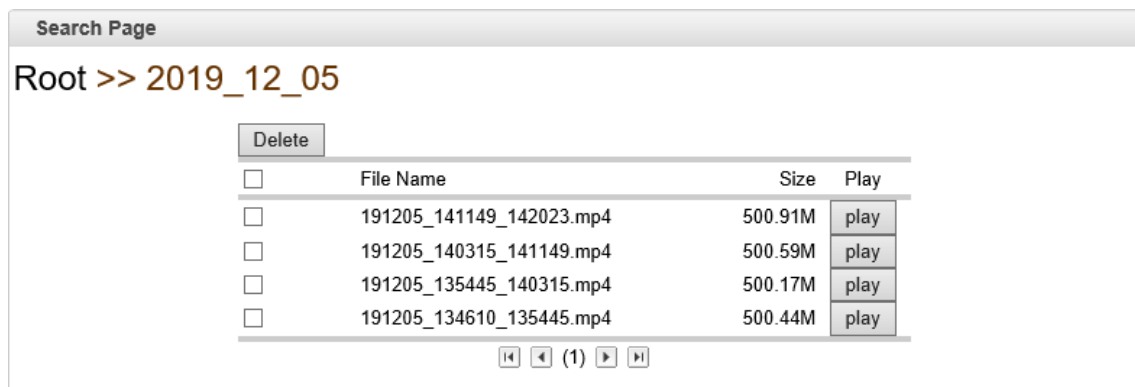
USB ディスクについて

- ・ USB メモリースティックまたはUSB HDD (外部電源付き)を使用でき、1GB 以上を推奨します。
- ・ ファイルシステムは「FAT32」のみサポートしています。
- ・ 録画と監視を同時に行う場合は、4Mbps 以下のビットレートを推奨します。パフォーマンスの制限によりフレームの欠落が発生する可能性があります。
- ・ USB ディスクを正常に読み取れなかった場合は、Disk Format を行ってください。システムは再起動を行い、起動時にディスクのステータスを読み取り初期化します。

9.5.4. Search Page



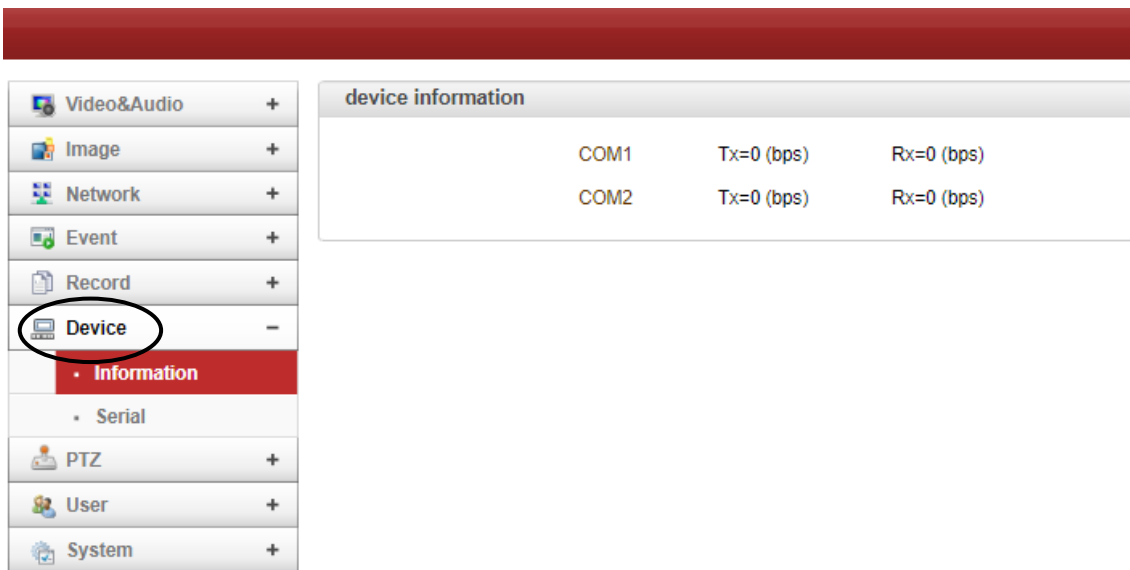
表示	説明
Search Page	録画した日付を表示します。 日付をクリックすると、下のように表示されます。 ※File Name をクリックすると、録画した動画を見ることができます。



表示	説明
File Name	録画時間がファイル名となります。 ファイル名をクリックすると、録画ファイルを保存できます。※1
Size	録画ファイルの容量を表示します。
Play	play をクリックして録画ファイルを再生します。(MP4 のみ表示)
Delete	削除したいファイルにチェックを入れ Delete をクリックすると、録画ファイルが削除されます。

9.6. Device

SETUP メニュー画面から”Device”タブをクリックします。



➤ Device メニュー

表示	説明
Information	シリアル通信の状態を表示します。
Serial	シリアルポートの設定を行います。

9.6.1. Information

Video&Audio	+
Image	+
Network	+
Event	+
Record	+
Device	-
• Information	
• Serial	
PTZ	+
User	+
System	+

device information			
COM1	Tx=0 (bps)	Rx=0 (bps)	
COM2	Tx=0 (bps)	Rx=0 (bps)	

- Device information

表示	説明
COM1 / COM2	現在のシリアル通信の状態(送受信)を表示します。

9.6.2. Serial

Video&Audio + Image + Network + Event + Record + Device - • Information • Serial PTZ + User + System +	COM1 (RS-232 Port)	
	Protocol	RS-232 ▼
	Bitrate	9600 ▼ bps
	Data Bit	8 ▼ Bits
	Parity	None ▼
	Stop Bit	1 ▼ Bits
	Pass Through TCP Port	0 (0=Disable)
	COM2 (RS-422/485 Port)	
	Protocol	RS-485 ▼
	Bitrate	2400 ▼ bps
Data Bit	8 ▼ Bits	
Parity	None ▼	
Stop Bit	1 ▼ Bits	
Pass Through TCP Port	0 (0=Disable)	
	485 Terminating Resistors	Off ▼

- COM1 (RS-232 Port)

COM1 (RS-232 Port)	
Protocol	RS-232 ▼
Bitrate	9600 ▼ bps
Data Bit	8 ▼ Bits
Parity	None ▼
Stop Bit	1 ▼ Bits
Pass Through TCP Port	0 (0=Disable)

表示	説明
Protocol	RS-232 で固定されます。
Bitrate	ビットレートを選択します。
Data Bit	データビットを選択します。
Parity	パリティビットを選択します。
Stop Bit	ストップビットを選択します。
Pass Through TCP Port	パススルーで使用する TCP ポートを入力します。

- COM-2 (RS-422/485 Port)

COM2 (RS-422/485 Port)

Protocol RS-485 ▼

Bitrate 2400 ▼ bps

Data Bit 8 ▼ Bits

Parity None ▼

Stop Bit 1 ▼ Bits

Pass Through TCP Port 0 (0=Disable)

485 Terminating Resistors Off ▼

表示	説明
Protocol	RS-422 または RS-485 を選択します。
Bitrate	ビットレートを選択します。
Data Bit	データビットを選択します。
Parity	パリティビットを選択します。
Stop Bit	ストップビットを選択します。
Pass Through TCP Port	パススルーで使用する TCP ポートを入力します。
485 Terminating Resistors	終端抵抗の有効/無効を選択します。

9.7. PTZ

SETUP メニュー画面から”PTZ”タブをクリックします。

The image shows the PTZ configuration interface. The left sidebar contains various system settings categories. The 'PTZ' category is highlighted with a red background and a black circle around its icon. The right panel, titled 'PTZ', contains three configuration fields: 'PTZ Type' set to 'Pelco-D', 'PTZ ID' set to '1', and 'PTZ Port' set to 'COM2'.

➤ PTZ メニュー

表示	説明
General	PTZ カメラの設定を行います。
Preset	Preset の設定を行います。
Group	グループ設定。全 8 グループで 1 グループ 20 組まで設定できます。
Advanced	再起動した際のカメラの位置、オートパーキング機能の設定を行います。
Direction OSD	

9.7.1. General

PTZ

PTZ Type: Pelco-D

PTZ ID: 1

PTZ Port: COM2

Apply

Menu items: Video&Audio, Image, Network, Event, Record, Device, PTZ (selected), General (selected), Preset, Group, Advanced, Direction OSD, User, System.

● PTZ

PTZ

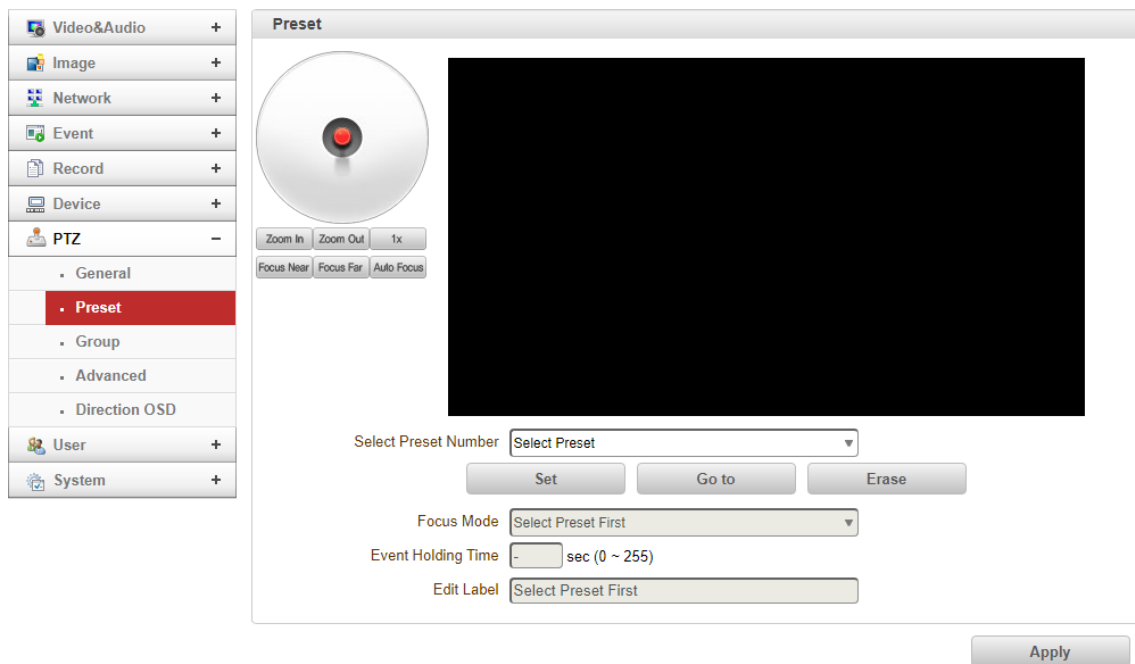
PTZ Type: Pelco-D

PTZ ID: 1

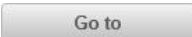
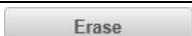
PTZ Port: COM2

表示	説明
PTZ Type	PTZ カメラや受信機の種類を選択します。
PTZ ID	制御用のカメラや受信機の PTZ ID を入力します。[0-255]
PTZ Port	制御用 PTZ カメラと接続するシリアルポートを選択します。

9.7.2. Preset



● Preset

表示	説明
Select Preset Number	プリセット番号を選択します。(Preset-1～500)
	選択したプリセット番号に現在位置を設定します。
	プリセットが設定されている場合、選択したプリセットの位置へ移動します。
	選択したプリセットを削除します。
Focus Mode	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
Event Holding Time	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
Edit Label	プリセットにラベルを割り当てます。

9.7.3. Group

- Video&Audio +
- Image +
- Network +
- Event +
- Record +
- Device +
- PTZ -
 - General
 - Preset
 - Group**
 - Advanced
 - Direction OSD
- User +
- System +

#1
#2
#3
#4
#5
#6
#7
#8

No.	Action	Dwell Time(0~255)	Option(1~255)	Enable
1	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	☐
2	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	☐
3	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	☐
4	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	☐
5	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	☐
6	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	☐
7	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	☐
8	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	☐
9	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	☐
10	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	☐
11	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	☐
12	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	☐
13	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	☐
14	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	☐
15	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	☐
16	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	☐
17	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	☐
18	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	☐
19	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	☐
20	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	☐

● Group

表示	説明
Action	グループに追加するプリセットを選択します。
Dwell time	各プリセットの滞留時間の設定を行います。
Option	映像の切り替わる速さを設定します。
Enable	有効にする場合はチェックを入れます。

9.7.4. Advanced

Video&Audio +
Image +
Network +
Event +
Record +
Device +
PTZ -

- General
- Preset
- Group
- Advanced**
- Direction OSD

User +
System +

Advanced
Power Up Action ☒ Off ☐ Group-1 ☐ Preset-1 ☐ Preset-2 ☐ Preset-3
Motion Detection and Tampering disable on PTZ ☒ Off ☐ On

Auto Parking
Parking Time sec (0~3600, 0:0ff)
Parking Action #1
Parking Action #2
Parking Action #3
Parking Action #4

Schedule of Auto Parking
☒ Parking Action #1 ☐ Parking Action #2 ☐ Parking Action #3 ☐ Parking Action #4

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

- Advanced

Advanced	
Power Up Action	☐ Off ☒ Group-1 ☐ Preset-1 ☐ Preset-2 ☐ Preset-3
Motion Detection and Tampering disable on PTZ	☐ Off ☒ On

表示	説明
Power Up Action	再起動後のカメラの位置を設定します。
Motion Detection and Tampering disable on PTZ	Onを選択すると、PTZによる動体検知を無効にできます。

- Auto Parking

Auto Parking

Parking Time
sec (0~3600, 0:0ff)

Parking Action #1

Parking Action #2

Parking Action #3

Parking Action #4

Schedule of Auto Parking

Parking Action #1

Parking Action #2

Parking Action #3

Parking Action #4

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

表示	説明
Parking Time	カメラの位置を移動させた後、何秒で Parking Action の位置に戻ってくるのか設定します。 0 の場合は、オートパーキング機能がオフになっています。
Parking Action #1-4	Parking Time で設定した時間が経過すると、ここで指定した Preset にカメラ位置を戻すことができます。
Schedule of Auto Parking	Parking Action で設定したプリセットのスケジュールを設定します。

9.7.5. Direction OSD

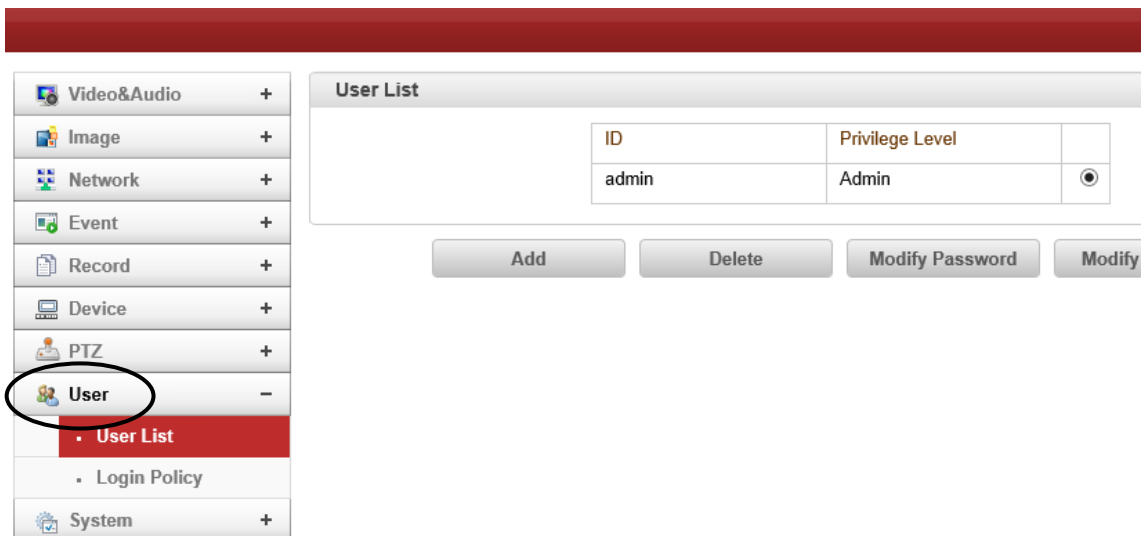
	Enable	String	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color
Range #1 - IN	☐		0	0	30	White
Range #1 - OUT	☐		0	0	30	White
Range #2 - IN	☐		0	0	30	White
Range #2 - OUT	☐		0	0	30	White
Range #3 - IN	☐		0	0	30	White
Range #3 - OUT	☐		0	0	30	White
Range #4 - IN	☐		0	0	30	White
Range #4 - OUT	☐		0	0	30	White

● Direction OSD

表示	説明
Enable	OSD を有効にする場合はチェックを入れます。
String	画面上に表示したい任意の文字列を入力します。 <u>Range #1 - IN</u> Range #1 の範囲内にカメラが向いている場合のみ、設定した文字列を表示させることができます。 <u>Range #1 - OUT</u> Range #1 の範囲以外にカメラが向いている場合に、設定した文字列を表示させることができます。
X-Coord	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。(0~1000)
Y-Coord	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。(0~1000)
Font Size	フォントサイズを設定します。(12~84)
Color	フォントの色を設定します。
Update Image	PTZ カメラで 360 度パノラマ撮影をします。

9.8. User

SETUP メニュー画面から”User”タブをクリックします。



➤ User メニュー

表示	説明
User List	ユーザの登録・削除・変更を行います。 最大 16 ユーザ登録可能。(admin 含む)
Login Policy	認証タイプやログイン方法を設定できます。

※上記の User 設定は、admin 権限レベルのユーザのみ設定できます。

9.8.1. User List

ID	Privilege Level
admin	Admin

Buttons: Add, Delete, Modify Password, Modify Privilege

- User List

ID	Privilege Level	
admin	Admin	☒

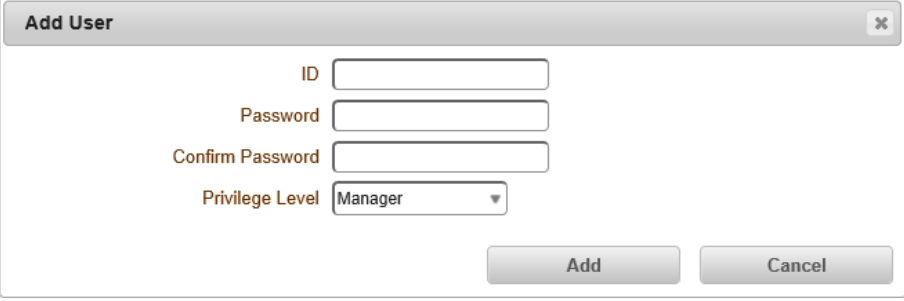
表示	説明
ID	ユーザの ID を表示します。
Privilege Level	ユーザの権限レベルを表示します。

ユーザ権限レベル

権限	操作可能範囲
Admin	すべての操作
Manager	User 設定を除くすべての操作
User	Live 画面の操作と PTZ 制御
Guest	Live 画面の操作のみ

- Add（新規登録）

Add ボタンをクリックします。



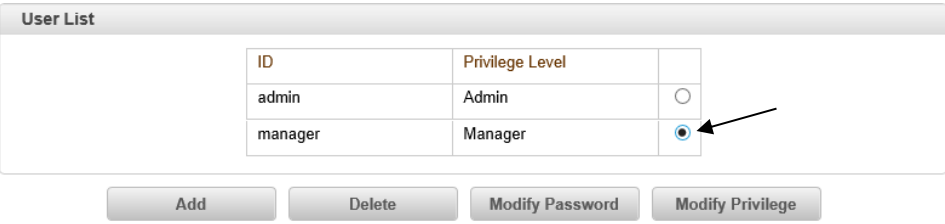
The 'Add User' dialog box contains the following fields and controls:

- ID**: Text input field.
- Password**: Text input field.
- Confirm Password**: Text input field.
- Privilege Level**: Dropdown menu with 'Manager' selected.
- Add**: Button at the bottom right.
- Cancel**: Button at the bottom right.

表示	説明
ID	登録するユーザの ID を入力します。 ※1～15 文字 ※英数字
Password	登録するユーザのパスワードを入力します。 ※2～15 文字 ※英数記号（“=”、“<”、“>”、“?”は使用不可）
Confirm Password	確認のため、もう一度パスワードを入力します。
Privilege Level	ユーザの権限レベルを選択します。

- Delete（ユーザ削除）

削除するユーザの右に黒丸を移動し Delete ボタンをクリックします。



The 'User List' dialog box displays a table of users and controls for managing them:

ID	Privilege Level	
admin	Admin	☐
manager	Manager	☒

An arrow points to the selected radio button for the 'manager' user. Below the table are four buttons: **Add**, **Delete**, **Modify Password**, and **Modify Privilege**.

- Modify Password（パスワードの変更）

パスワード変更をするユーザの右に黒丸を移動し、Modify Password ボタンをクリックします。

The 'Modify Password' dialog box has a title bar with a close button. Inside, there are four labeled input fields: 'ID' (containing 'admin'), 'Current Password', 'New Password', and 'Confirm Password'. Below the fields are two buttons: 'Modify' and 'Cancel'.

表示	説明
ID	パスワードを変更するユーザを表示します。
Current Password	現在のパスワードを入力します。(admin のみ入力)
New Password	新しいパスワードを入力します。
Confirm Password	確認のため、もう一度パスワードを入力します。

- Modify Privilege（権限レベルの変更）

権限レベルを変更するユーザの右に黒丸を移動し Modify Privilege ボタンをクリックします。

The 'Modify Privilege Level' dialog box has a title bar with a close button. Inside, there are two labeled input fields: 'ID' (containing 'manager') and 'Privilege Level' (a dropdown menu showing 'Manager'). Below the fields are two buttons: 'Modify' and 'Cancel'.

表示	説明
ID	権限を変更するユーザを表示します。
Privilege Level	権限レベルを選択します。

※admin ユーザの admin 権限は変更不可

9.8.2. Login Policy

- Login Policy

表示	説明
Authentication Type	HTTP 認証方式の基本認証 (Basic) またはダイジェストアクセス認証 (Digest) から選択します。

- Authentication

表示	説明
RTSP Authentication	On を選択した場合、RTSP クライアントへの動画配信を行う際に、パスワード認証を要求します。
HTTPAPI Authentication	On に設定すると、HTTPAPI にて操作する際に、パスワード認証を要求します。

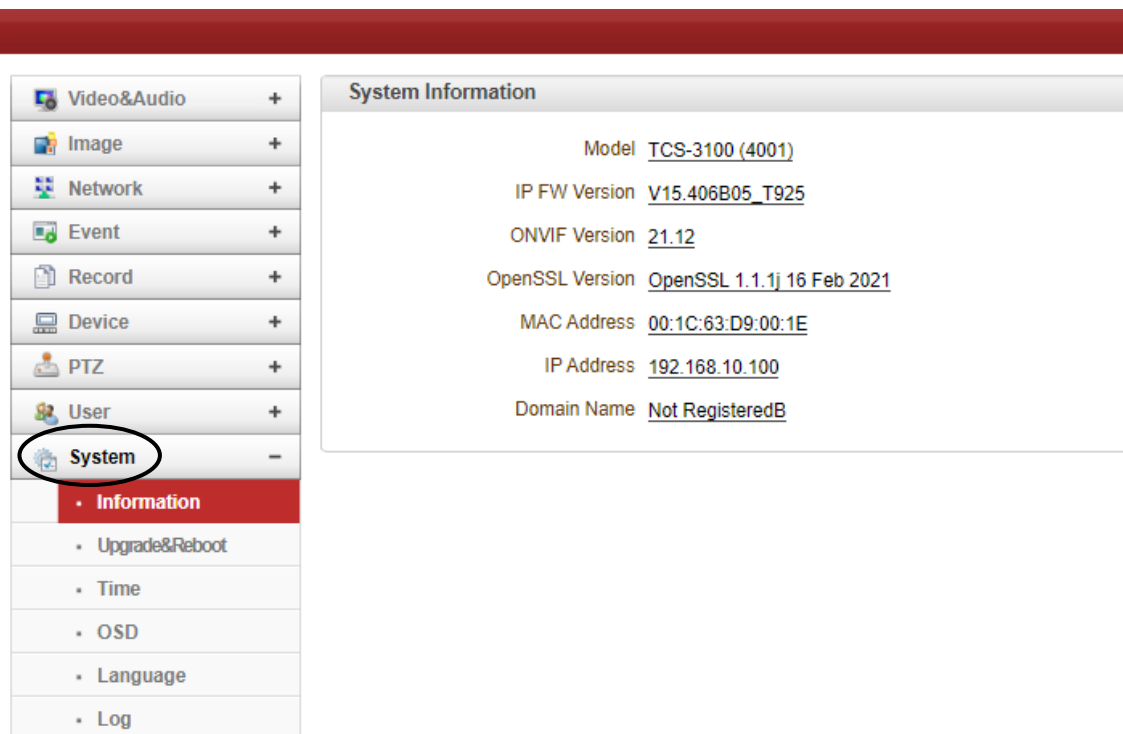
- Login Failure Process

Login Failure Process	
Number of Login failures Allowed	3
E-mail Notification	☒ Off ☐ On
User ID Blocking	30 seconds
Apply	

表示	説明
Number of Login failures Allowed	ログイン失敗の許容回数を設定します。 No limit (無制限)を選択した場合は、何回失敗してもブロックされません。 1,3,5,10 を選択した場合は、失敗の許容回数を超えるとブロックされます。 ブロックされた場合、一定の時間ログインできなくなります。 【例】 3 を選択した場合、3 回連続で失敗しても 4 回目で成功すればログインできます。4 回連続で失敗した場合、ブロックされます。
E-mail Notification	ログイン失敗しブロックされた場合、メール通知を行います。
User ID Blocking	ログイン失敗しブロックされた場合、ブロックする時間を設定します。 30 秒, 60 秒, 5 分から選択し、経過すると再度ログインできます。

9.9. System

SETUP メニュー画面から”System”タブをクリックします。



➤ System メニュー

表示	説明
Information	現在の機器情報の表示を行います。
Upgrade & Reboot	ファームウェアの更新や本機の再起動、初期化を行います。
Time	現在の日時設定を行います。
OSD	システム名や日時の画面表示設定を行います。
Language	表示される言語設定を行います。
Log	ログの表示と保存を行います。

9.9.1. Information

- Video&Audio +
- Image +
- Network +
- Event +
- Record +
- Device +
- PTZ +
- User +
- System -
- Information
- Upgrade&Reboot
- Time
- OSD
- Language
- Log

System Information

Model [TCS-3100 \(4001\)](#)

IP FW Version [V15.406B05_T925](#)

ONVIF Version [21.12](#)

OpenSSL Version [OpenSSL 1.1.1j 16 Feb 2021](#)

MAC Address [00:1C:63:D9:00:1E](#)

IP Address [192.168.10.100](#)

Domain Name [Not RegisteredB](#)

- System Information

System Information

Model [TCS-3100 \(4001\)](#)

IP FW Version [V15.406B05_T925](#)

ONVIF Version [21.12](#)

OpenSSL Version [OpenSSL 1.1.1j 16 Feb 2021](#)

MAC Address [00:1C:63:D9:00:1E](#)

IP Address [192.168.10.100](#)

Domain Name [Not RegisteredB](#)

表示	説明
Model	モデル名を表示します。
IP FW Version	現在のファームウェアバージョンを表示します。
ONVIF Version	現在の ONVIF のバージョンを表示します。
OpenSSL Version	現在の OpenSSL バージョンを表示します。
MAC Address	MAC アドレスを表示します。
IP Address	現在の IP アドレスを表示します。
Domain Name	現在のドメイン名を表示します。

9.9.2. Upgrade & Reboot

- Video&Audio + - Image + - Network + - Event + - Record + - Device + - PTZ + - User + System - - Information Upgrade&Reboot - Time - OSD - Language - Log	Firmware IP FW Version <u>V15.406B05_T925</u> Upgrade ファイルを選択 選択されていません Firmware Upgrade
	Config Backup&Restore Backup Config Backup Restore ファイルを選択 選択されていません Config Restore
	Reboot Reboot
	Factory Reset Exclusions Item Network Preset User List Factory Reset
	SSL Certificates Upload Crt File ファイルを選択 選択されていません Key File ファイルを選択 選択されていません Upload <u>Default certificate is being used.</u>

● Firmware

Firmware IP FW Version <u>V15.406B05_T925</u> Upgrade ファイルを選択 選択されていません Firmware Upgrade

表示	説明
IP FW Version	現在のファームウェアバージョンを表示します。
Upgrade	[ファイルを選択] ボタンをクリックし、PC からファームウェアファイルを選択します。 Firmware Upgrade ボタンをクリックし、アップグレードを開始します。 アップグレード完了後に、本機は自動的に再起動します。 ※アップグレード中に電源を切らないで下さい。

- Config Backup & Restore

Config Backup&Restore

Backup

Config Backup

Restore

ファイルを選択

選択されていません

Config Restore

表示	説明
Backup	Config Backup をクリックし、コンフィグファイルを保存します。
Restore	[ファイルを選択] ボタンをクリックし、Config Backup にて保存したコンフィグファイルを選択し、設定の復元をします。 Config Restore をクリックすると、再起動します。 ※異なるファームウェアバージョンのコンフィグファイルは適用できません。

- Reboot

Reboot

Reboot

表示	説明
Reboot	本機を再起動します。

- Factory Reset

Factory Reset

Exclusions Item

Network

Preset

User List

Factory Reset

表示	説明
Exclusions Item	Network、Preset、User List で初期化しない設定にチェックをします。 設定が保持されるものを以下に記します。 Network: Network > IP&Port, QoS, Discovery, SNMP, DDNS, SSL User > Login Policy > Authentication Preset: PTZ > Preset, Group, Advanced > Auto Parking User List: User > User List
Factory Reset	ログを含む、すべての設定が初期化されます。

- SSL Certification Upload

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

9.9.3. Time

Video&Audio +
Image +
Network +
Event +
Record +
Device +
PTZ +
User +
System -
 Information
 Upgrade&Reboot
 Time
 OSD
 Language
 Log

Time

Start Time 2024/05/08 11:48:28

Current Time 2024/05/08 13:53:55

Set Time 2024/05/08 13 : 53 : 50 Set Current Time

Time Format YYYY/MM/DD hh:mm:ss

Time Zone (GMT+09:00) Seoul

☐ Automatically synchronize with NTP server

NTP Server pool.ntp.org Apply

- Time

Time

Start Time 2024/05/08 11:48:28

Current Time 2024/05/08 13:54:13

Set Time 2024/05/08 13 : 53 : 50 Set Current Time

Time Format YYYY/MM/DD hh:mm:ss

Time Zone (GMT+09:00) Seoul

☐ Automatically synchronize with NTP server

NTP Server pool.ntp.org Apply

表示	説明
Start Time	本機の起動日時を表示します。
Current Time	本機の現在日時を表示します。
Set Time	手動で日付と時間を設定できます。 Set Current Time をクリックすると、ブラウザ経由で日時が更新されます。
Time Format	日時の表示形式を選択します。
Time Zone	本機が取り付けられている場所のタイムゾーンを選択します。
NTP	チェックを入れた場合、自動的に NTP サーバと同期します。 NTP を使用して、NTP サーバと本機の時刻を同期します。 ※同期間隔は 30 分程度
Server	NTP にチェックを入れた場合、同期させる NTP サーバを登録します。

9.9.4. OSD

- Video&Audio +
- Image +
- Network +
- Event +
- Record +
- Device +
- PTZ +
- User +
- System -**
 - Information
 - Upgrade&Reboot
 - Time
 - OSD**
 - Language
 - Log

System ID
System ID

Web Viewer OSD
System ID ☒ Off ☐ On
Time ☒ Off ☐ On
Position ☒ Bottom ☐ Top

Burn-in OSD
System ID ☒ Off ☐ On
Time ☒ Off ☐ On
Position ☒ Bottom ☐ Top
Font Size

User-defined Burn-in OSD

No.	String	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color	Enable
1		0	0	30	White	☐
2		0	0	30	White	☐
3		0	0	30	White	☐
4		0	0	30	White	☐

User-defined Bitmap OSD
Bitmap OSD1 Enable
Bitmap OSD2 Enable

- System ID

System ID	
System ID	

表示	説明
System ID	ビデオサーバ名として使用されるシステム ID を入力します。 ※最大 15 文字、英数記号(¥は使用不可)、日本語使用可能

- Web Viewer OSD

Web Viewer OSD	
System ID	☒ Off ☐ On
Time	☒ Off ☐ On
Position	☒ Bottom ☐ Top

表示	説明
System ID	システム ID を View 画面に表示させるのか Off/On を選択します。
Time	現在日時を View 画面に表示させるのか Off/On を選択します。
Position	System ID または Time が On の場合、表示する位置を上 (Top) または下 (Bottom) から選択します。

※Edge (Internet Explorer モード) のみ表示

- Burn-in OSD

Burn-in OSD	
System ID	☒ Off ☐ On
Time	☒ Off ☐ On
Position	☒ Bottom ☐ Top
Font Size	40x40

表示	説明
System ID	エンコード映像にシステム ID を表示させるのか Off/On を選択します。
Time	エンコード映像に現在日時を表示させるのか Off/On を選択します。
Position	System ID または Time が On の場合、表示する位置を上 (Top) または下 (Bottom) から選択します。
Font Size	フォントサイズを設定します。

- User-defined Burn-in OSD

User-defined Burn-in OSD						
No.	String	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color	Enable
1		0	0	30	White ▼	☐
2		0	0	30	White ▼	☐
3		0	0	30	White ▼	☐
4		0	0	30	White ▼	☐

表示	説明
String	エンコード映像に表示したい任意の文字列を入力します。 ※最大 20 文字、英数記号(¥は使用不可)、日本語使用可能
X-Coord	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。(0~1000)
Y-Coord	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。(0~1000)
Font Size	フォントサイズを設定します。(12~84)
Color	フォントの色を設定します。
Enable	表示する場合は、Enable にチェックを入れます。

- User-defined Bitmap OSD

User-defined Bitmap OSD	
Bitmap OSD1 Enable	On
X-Coord(0~1000)	0
Y-Coord(0~1000)	0
Current Bitmap	
Upload Bitmap	参照...
Bitmap OSD2 Enable	Off

表示	説明
Bitmap OSD1/2 Enable	エンコード映像にビットマップを入れる場合は、On にします。 ビットマップは 2 つまで設定可能です。
Bitmap OSD2 Enable	ビットマップを入れる場合は、On にします。
X-Coord	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。(0~1000)
Y-Coord	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。(0~1000)
Current Bitmap	現在のビットマップを表示します。
Upload Bitmap	参照をクリックし、ビットマップ形式の画像ファイルを開きます。
Upload Bitmap	ビットマップ形式の画像ファイルを PC からアップロードします。

9.9.5. Language

Video&Audio +	Language Language English Apply
Image +	
Network +	
Event +	
Record +	
Device +	
PTZ +	
User +	
System -	
Information	
Upgrade&Reboot	
Time	
OSD	
Language	
Log	

● Language

Language	
Language	English Apply

表示	説明
Language	18 カ国語の中から選択します。

※本取扱説明書は英語版(English)で記載していますが、日本語も選択可能です。

9.9.6. Log

Video&Audio +

Image +

Network +

Event +

Record +

Device +

PTZ +

User +

System -

Information

Upgrade&Reboot

Time

OSD

Language

Log

System Log

221206 09:09:39 SYSTEM FactoryReset ID(admin), IP(192.168.10.7)

221206 09:10:33 ETC SWWDI Last Alive Time "221206 09:09:33"

221206 09:10:33 SYSTEM Started (V3.112B01)

221206 09:10:49 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)

221206 09:10:49 CONNECTION RTSP Disconnected IP(192.168.10.110)

221206 09:11:33 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)

221206 09:11:33 CONNECTION RTSP Disconnected IP(192.168.10.110)

221206 09:12:16 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)

221206 09:12:16 CONNECTION RTSP Disconnected IP(192.168.10.110)

221206 09:12:25 ACCOUNT Changed Password(admin(Admin)), ID(admin), IP(192.168.10.7)

221206 09:12:44 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)

221206 09:12:49 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)

221206 09:12:59 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)

221206 09:13:09 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)

221206 09:13:33 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)

221206 09:16:34 SYSTEM Upgrade success ID(admin), IP(192.168.10.7), (V3.112B01_T100 -> V3.112B01.tus)

221206 09:17:52 ETC SWWDI Last Alive Time "221206 09:16:08"

221206 09:17:52 SYSTEM Started (V3.111B06)

221206 09:18:19 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)

221206 09:22:44 SYSTEM Upgrade success ID(admin), IP(192.168.10.7), (V3.112B01_T100 -> V3.111B06.tus)

221206 09:24:01 ETC SWWDI Last Alive Time "221206 09:22:21"

221206 09:24:01 SYSTEM Started (V3.111B06)

221206 09:24:31 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)

221206 10:05:57 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)

221206 10:06:03 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)

221206 10:09:41 SYSTEM Upgrade success ID(admin), IP(192.168.10.7), (V3.111B06_T100 -> V3.112B01.tus)

221206 10:10:59 ETC SWWDI Last Alive Time "221206 10:09:11"

221206 10:10:59 SYSTEM Started (V3.112B01)

221206 10:11:26 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)

221206 10:14:31 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)

221206 10:14:36 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)

221206 10:14:46 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)

221206 10:14:58 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)

221206 11:44:34 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)

221206 13:28:14 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)

221206 13:28:21 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)

221206 13:28:26 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)

221206 13:28:30 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)

221206 13:28:36 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)

221206 13:28:41 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)

221206 13:28:44 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)

221206 13:28:50 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)

Filter

☒ Backup

☒ Account

☒ Environment

☒ System

☒ PTZ

☒ Etc

☒ Connection

Get System Log

Save System Log

Delete System Log File

User Log

221205 13:24:04 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)

221205 13:24:06 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)

221205 13:24:08 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)

221205 13:24:10 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)

221205 13:24:13 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)

221205 13:24:16 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)

221205 13:24:20 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)

221205 16:35:55 USER Login failure ID(admin), IP(127.0.0.1)

221205 16:35:55 USER Login success ID(admin), IP(127.0.0.1)

221206 08:34:10 USER Login failure ID(admin), IP(127.0.0.1)

221206 08:34:10 USER Login success ID(admin), IP(127.0.0.1)

221206 08:48:53 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.110)

221206 09:12:04 USER Login failure ID(admin), IP(192.168.10.7)

221206 09:12:08 USER Login failure ID(admin), IP(192.168.10.7)

221206 09:12:16 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)

221206 09:12:41 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)

221206 09:18:11 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)

221206 09:24:20 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)

221206 10:11:17 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)

Get User Log

Save User Log

Delete User Log File

Save Log Option

	Include	Exclude
User	☒	☐
Backup	☒	☐
Account	☒	☐
Environment	☒	☐
System	☒	☐
PTZ	☒	☐
Etc	☒	☐
Connection	☒	☐

Apply

- System Log

System Log

221205 13:24:04 ACCOUNT Delete 8(Manager), ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:06 ACCOUNT Delete 7(Manager), ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:08 ACCOUNT Delete 6(Manager), ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:10 ACCOUNT Delete 5(Manager), ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:13 ACCOUNT Delete 4(Manager), ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:16 ACCOUNT Delete 2(Manager), ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:19 ACCOUNT Delete 3(Manager), ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:43 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221205 13:25:12 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)
221205 13:25:15 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)
221205 16:35:55 CONNECTION RTSP Connected IP(127.0.0.1)
221205 16:38:56 CONNECTION RTSP Disconnected IP(127.0.0.1)
221205 17:46:25 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)
221205 17:46:30 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)
221205 22:04:15 CONNECTION RTSP Disconnected IP(192.168.10.110)
221205 22:04:56 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221206 08:34:10 CONNECTION RTSP Connected IP(127.0.0.1)
221206 08:34:19 CONNECTION RTSP Disconnected IP(127.0.0.1)
221206 08:39:04 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)
221206 08:39:24 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)
221206 08:47:54 SYSTEM Reboot ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 08:48:34 ETC SHWDT Last Alive Time "221206 08:47:55"
221206 08:48:34 SYSTEM Started (V3.112B01)
221206 08:48:52 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221206 09:09:39 SYSTEM FactoryReset ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 09:10:33 ETC SHWDT Last Alive Time "221206 09:09:33"
221206 09:10:33 SYSTEM Started (V3.112B01)
221206 09:10:49 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221206 09:10:49 CONNECTION RTSP Disconnected IP(192.168.10.110)
221206 09:11:33 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221206 09:11:33 CONNECTION RTSP Disconnected IP(192.168.10.110)
221206 09:12:16 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221206 09:12:16 CONNECTION RTSP Disconnected IP(192.168.10.110)
221206 09:12:25 ACCOUNT Changed Password(admin(Admin)), ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 09:12:44 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)
221206 09:12:49 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)
221206 09:12:59 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221206 09:13:09 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)
221206 09:13:33 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)
221206 09:16:34 SYSTEM Upgrade success ID(admin), IP(192.168.10.7), (V3.112B01_T100 -> V3.112B01.tus)
221206 09:17:52 ETC SHWDT Last Alive Time "221206 09:16:08"
221206 09:17:52 SYSTEM Started (V3.112B01)
221206 09:18:19 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)

Filter
☒ Backup
☒ Account
☒ Environment
☒ System
☒ PTZ
☒ Etc
☒ Connection

Get System Log
Save System Log
Delete System Log File

表示	説明
Filter	表示するログを選択できます。非表示にするログはチェックを外します。
Get System Log	システムログを表示します。
Save System Log	表示されているシステムログを txt ファイルとして保存できます。
Delete System Log File	システムログを削除します。

- User Log

User Log

```

221205 13:23:55 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:01 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:04 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:06 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:08 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:10 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:13 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:16 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:20 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 16:35:55 USER Login failure ID(admin), IP(127.0.0.1)
221205 16:35:55 USER Login success ID(admin), IP(127.0.0.1)
221206 08:34:10 USER Login failure ID(admin), IP(127.0.0.1)
221206 08:34:10 USER Login success ID(admin), IP(127.0.0.1)
221206 08:48:53 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.110)
221206 09:12:04 USER Login failure ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 09:12:08 USER Login failure ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 09:12:16 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 09:12:41 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 09:18:11 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 09:24:20 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 10:11:17 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)

```

Get User Log

Save User Log

Delete User Log File

表示	説明
Get User Log	ユーザログインに関するログ(success/failure/blocked)を表示します。
Save User Log	ユーザログインに関するログを txt ファイルとして保存できます。
Delete User Log File	ユーザログインに関するログを削除します。

- Save Log Option

Save Log Option

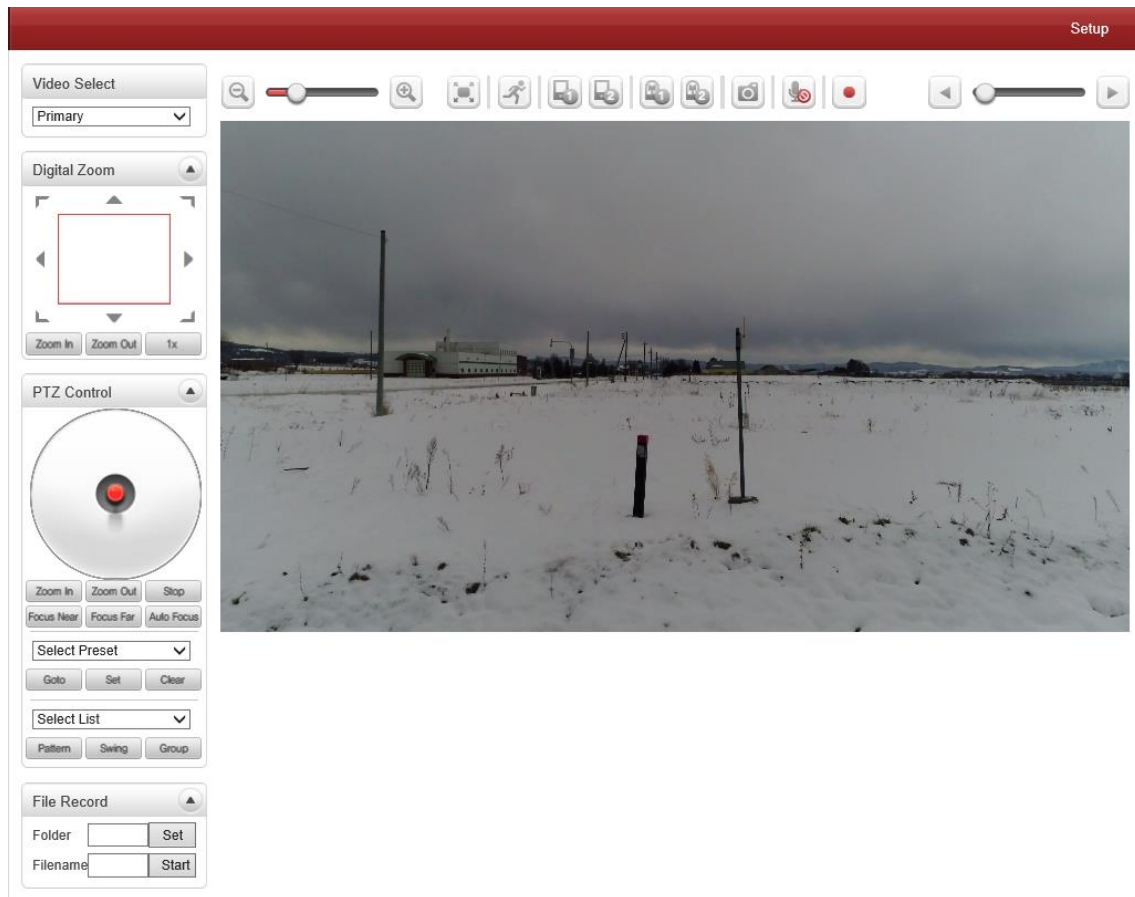
	Include	Exclude
User	☒	☐
Backup	☒	☐
Account	☒	☐
Environment	☒	☐
System	☒	☐
PTZ	☒	☐
Etc	☒	☐
Connection	☒	☐

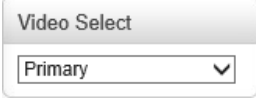
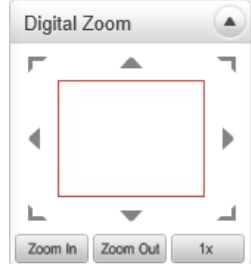
Apply

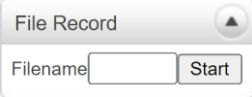
表示	説明
Include	保存するログにさまざまなオプションを含めることができます。
Exclude	保存するログからさまざまなオプションを外すことができます。

10.Live メニュー

本機に接続されている PTZ 機能などを有するカメラの制御を行うことができる機能です。



表示	説明
View 画面	エンコード映像を Web ブラウザの View 画面に表示します。 使用する Web ブラウザと、選択する Algorithm によって、フレームレートの上限が異なります。 Edge (IE 互換モード) : H.264/H.265/MJPEG は、50～60fps で表示 Chrome, Edge : H.264 は 50～60fps、H.265/MJPEG は 2fps で表示
	表示する映像ストリームを選択します。 (Primary、Secondary #1-#3)
	View 画面上のズーム制御を行います。 Zoom in : 拡大します。 Zoom out : 縮小します。 1x : ワンクリックで通常サイズに戻ります。 ※Chrome, Edge (H.265/MJPEG) は未サポートとなります。

	Pan(左右)、Tilt(上下)、Zoom(拡大)の制御を行います。 Zoom in : 拡大します。 Zoom out : 縮小します。 Stop : 現在進行中のアクションを停止します。 Focus Near : 近くに物体に焦点を合わせます。 Focus Far : 遠くの物体に焦点を合わせます。 Auto Focus : 自動的に焦点を合わせます。
	Preset の設定を行います。 Goto: 選択したプリセット位置へカメラを移動します。 Set: 現在の位置でプリセットを保存します。 Clear: プリセットを解除します。
	Patten/Swing: 本機能は未サポートのため、ご使用になれません。 Group: 選択したグループ設定の通りに PTZ します。
	PC のダウンロードフォルダに保存することができます。 Filename: ファイル名を設定し、Start で開始、Stop で停止します。 ファイル名 [Filename_IPaddress_hh_mm_ss] の MKV ファイルを作成。 ※Chrome, Edge (H.264) で使用可能
	Live 画面のスクリーンサイズを調節します。
	フルスクリーンになります。Esc キーで元のサイズに戻ります。 ※Chrome, Edge (H.265/MJPEG) は未サポートとなります。
	Motion Detection (動体検知機能) が有効、設定した範囲内で動きを感知すると赤くなります。
	センサーが ON になると作動します。作動中は数字が赤くなります。
	クリックすると、機器のアラームリレーを ON/OFF することができます。作動中は数字が赤くなります。
	画像をキャプチャし、JPEG ファイルで保存します。 ※Chrome, Edge (H.264) で使用可能
	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
	Live 画面からの音声出力の有効(左)/無効(右)を選択します。 ※Chrome, Edge (H.265/MJPEG) は未サポートとなります。
	録画状況を確認できます。 赤: 録画しています(左) / 黒: 録画していません(右)
	映像をブラウザに映し出す前にバッファリングするデータのフレーム数を設定します。 ※Chrome, Edge (H.265/MJPEG) は未サポートとなります。

11. 製品仕様

製品名		TCS-3100N
タイプ		エンコーダ
圧縮方式		H.264、H.265、MJPEG
入出力解像度		640x480 ～ 1920x1080
エンコード解像度		320x240 ～ 1920x1080
最大フレームレート		60fps@1920x1080
ビデオ	入力	HDMI x1 (Type A)、3G/HD/SD-SDI x1 (BNC)
	出力	HDMI x1 (Type A)、3G/HD/SD-SDI x1 (BNC)
	データレート	Primary : 32kbps ～ 16Mbps Secondary : 32kbps ～ 4Mbps
オーディオ	スタンダード	G.711 / AAC
	入力	Line-In x1 (ステレオミニジャック)、HDMI x1
	出力	Line-Out x1 (ステレオミニジャック)、HDMI x1
	サンプルレート	G.711 : 8kHz AAC : 32kHz / 44.1kHz / 48kHz
	データレート	G.711 : 64kbps AAC : 32kbps / 64kbps / 128kbps / 192kbps
ネットワーク		Ethernet 10/100/1000BASE-T (RJ-45) x1
		・Full/Half duplex Auto detection ・オート MDI/MDI-X
USB ポート		USB3.0 x1
外部装置	アラームポート	アラーム出力 x2
	センサーポート	センサー入力 x2
	シリアルポート	RS-232 x1
		RS-422/485 x1
	ブザー	ブザー x1
寸法		(W) 134 x (H) 33 x (D) 125mm (突起部含まず)
重量		470g (本体のみ)
電源	DC ジャック	DC12V
最大消費電力		9.6W
動作温度		-10 ～ +50℃
動作湿度		20 ～ 80%RH (結露なきこと)
保存温度		-10 ～ +50℃
保存湿度		20 ～ 80%RH (結露なきこと)

認証	VCCI Class A、RoHS、CE、KC、FCC
製品保証期間	本体:1 年間 AC アダプタ:2 年間
付属品	同梱物一覧を参照

12. 困ったときには

本製品の使用中になんらかのトラブルが発生したときの対処方法について説明いたします。

本体の電源が入らない

以下の点を確認してください。

- 電源コンセントには、電源が供給されているか
- 電源には、適切な電圧が供給されているか
- 正しいポートに、電圧が供給されているか

RJ-45 ポートでリンクが確立しない

以下の点を確認してください。

- 接続先の機器の電源は、オンになっているか
- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか

映像が出力しない

以下の点を確認してください。

- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか
- 映像元のパソコン等の出力設定は正しく設定されているか
- 出力先のモニタ等の設定は正しく設定されているか
- サポートされている解像度で映像が入力されているか
- 入出力コネクタは正しく設定されているか

13. 製品保証

- ◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。

- 1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
- 2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させていただきます。
- 3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
- 4) 弊社への送料はお客様の負担とさせていただきますのでご了承ください。

初期不良保証期間：

ご購入日より **3ヶ月間**（弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応）

製品保証期間：

《本体》ご購入日より **1年間**（お預かりによる修理、または交換対応）

《AC アダプタ》ご購入日より **2年間**（お預かりによる修理、または交換対応）

- ◆ 保証期間内であっても、以下の場合には有償修理とさせていただきます。
（修理できない場合もあります）
 - 1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
 - 2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
 - 3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合
- ◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。
- ◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。
- ◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。
- ◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社 カスタマサポート

受付時間：平日（土日祝日、年末年始、当社休業日を除く） 9:00～17:00

TEL: 0570-060030

問合せフォーム：https://hytec.co.jp/contact/technical_support_form.html

